Champion RED Comics
RED
神さまの怨結び
かみさまのえんむすび
守 KAMI 月 ZUKI 史 SIKI 貴

KAMISAMA NO ENMUSUBI

Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SIKI

Champion
RED Comics
RED
神さまの怨結び
かみさまのえんむすび
守月史貴

目次

初出/チャンピオンREDいちご2014年vol.43～vol.45

おい人間

由緒正しき赤縄を首吊りなんぞに使いおって——

おかげで目が覚めてしまったぞ

…しかしまぁ

うるせえな… 黙って死なせてくれよ…

この『蛇』の供物となれたことを

光栄に思うがよい

…って え?俺…まだ…死んでないのか?

第一節❖サクラ散ル赤

いいや貴様は確かに死んだよ
もっとも
偶然この蛇に
その身を捧げたために
逝き損ねたようだが？

いッ
いってぇえ！もっと丁寧に降ろせ…
って普通に動けるし!?
うおおどーなってんだおい!!
俺は確かにこのボロ神社で首を吊って…
妾の願いが叶うまで生きるも死ぬも許しはせん
…神社？
貴様はこれから人をかき集めてくるんだ
おい…
神社ってのは神様が居るもんじゃねえのかよ…

こいつは どっからどう見ても

悪魔 じゃねえか

学校…
いきたくない
よお櫻!
ガラ!
ギクッ
お
おは…よ稲葉くん…
ちら
あーたりーなー
今日ってマラソンあるじゃんかー
う…?うん

ひぅあっ!?

こーんな揺れてっと走る時大変だろ？

本番も見かけたらおっぱい支えてやるからさー♪

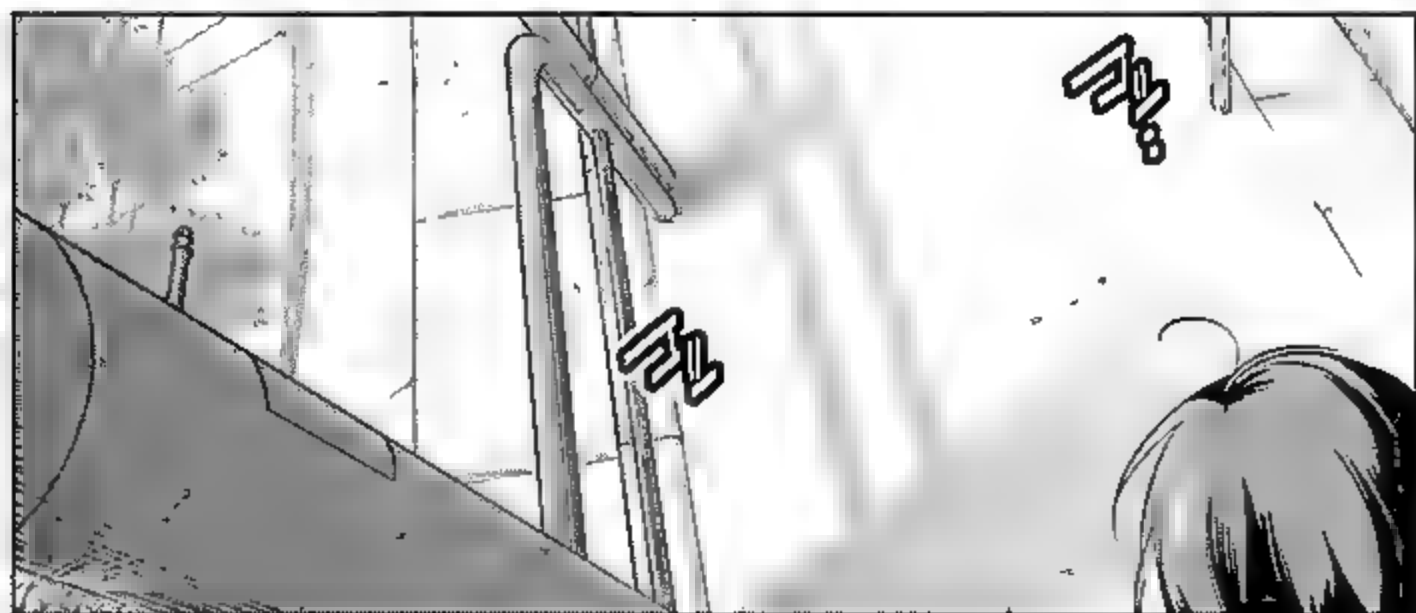
私…

この胸きらい

さくらさんの
おっぱい
すっごいの！
あたしの
おかーさんより
おっきい！
その頃から
これまで あんまり
話したことのなかった
稲葉くんが
ちょっかいを
出してくるように
なった
さーくらっ
…さっき女子の話
聞こえちゃったん
だけどさぁー

それは数年経った
今も変わらずーー
ギャ
ギャ
櫻ー
〝牛乳は巨乳の秘訣〟
ってマジ？
…っ
つーか お前もう
十分 牛レベル
なのに
毎日精が
出るなぁー
精が出んのは
お前の方じゃ
ねーの？
はぁあ!?
う…うっせ！
誰がッ
何だと
思ったんだ
稲葉ー(笑)
ちょっと男子ー
うっさーい

あんな奴…
とぼ
とぼ…
居なくなっちゃえばいいのに
なめたこと言ってんじゃねーぞ
…えっ

――ひッ!?
こんな依頼人とか…
あーあ
あのロリババァ耄碌してんのか?

首に…縄ッ!?
この人怖い……!
な…なに…ですかっ?
ビクッ
連れて来いって命令されてんだよ

…あんたがくだらねーこと考えてるから
あの地獄耳に聞こえちまったんだ

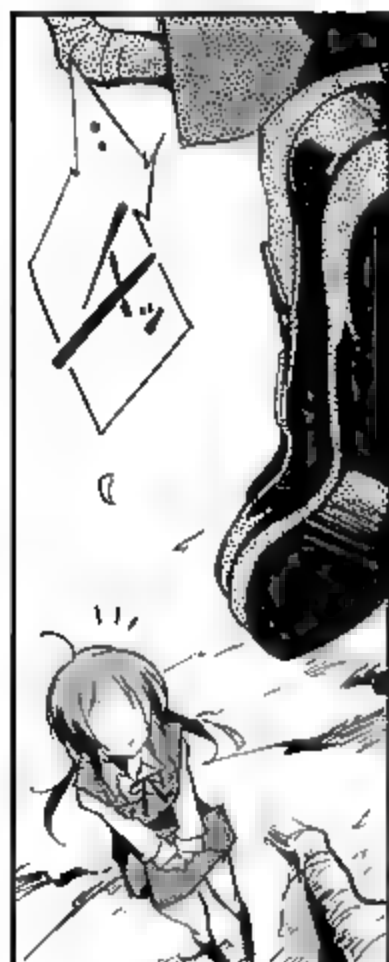
――えっ
!?
ようこそ
迷える呪い人様よ

妾は蛇
かつて男女を
結ぶ呪いに
使われた——
『赤縄』という道具の
成れの果てだ
『運命の赤い糸』
とか言うだろう？
あれの元ねた
といった
ところだな
ところで
そなた
消えて欲しい輩が
居るそうだが？
その願い
この蛇が叶えて
やっても良いぞ
!?

消えて…
ほしい…？

ほ
ほん…とう
ですか？

無論
妾(わらわ)にかかれば
たやすい御用だ♬

…はぁ!?
冗談だろ!?
ずゎ
ずゎ
こんな分別も
つかないような
ガキにまでそんなこと…
さぜっ

稲葉…
稲葉くん…に
いなくなって…
ほしい　です…
サュ
よいよい❤
ただしその願い
叶える為には
条件がある
呪うには一度
相手と交わり
〃怨〃を
結ばねばならん
まじ　わり
…
…えん？

今風に言うなら

"せっくす"すればよい❤

…ッ!?

性も分からん
お子様は呪いなんぞに
うつつを抜かす前に

まず道徳と
保健体育の
勉強してこい

な…んなの あの人
自分でここに
連れて来ておいて

どうして
酷いことばっか
言うの…っ!?

いやぁ すまぬな
どうにも性根の
腐った下僕で

ちゃんとシメて
おくからの

…やり…ます

はっ?

男子なんて
子供だし…

エッチだし

ドラマや映画みたいな
恋愛なんて
どこにもないんだから

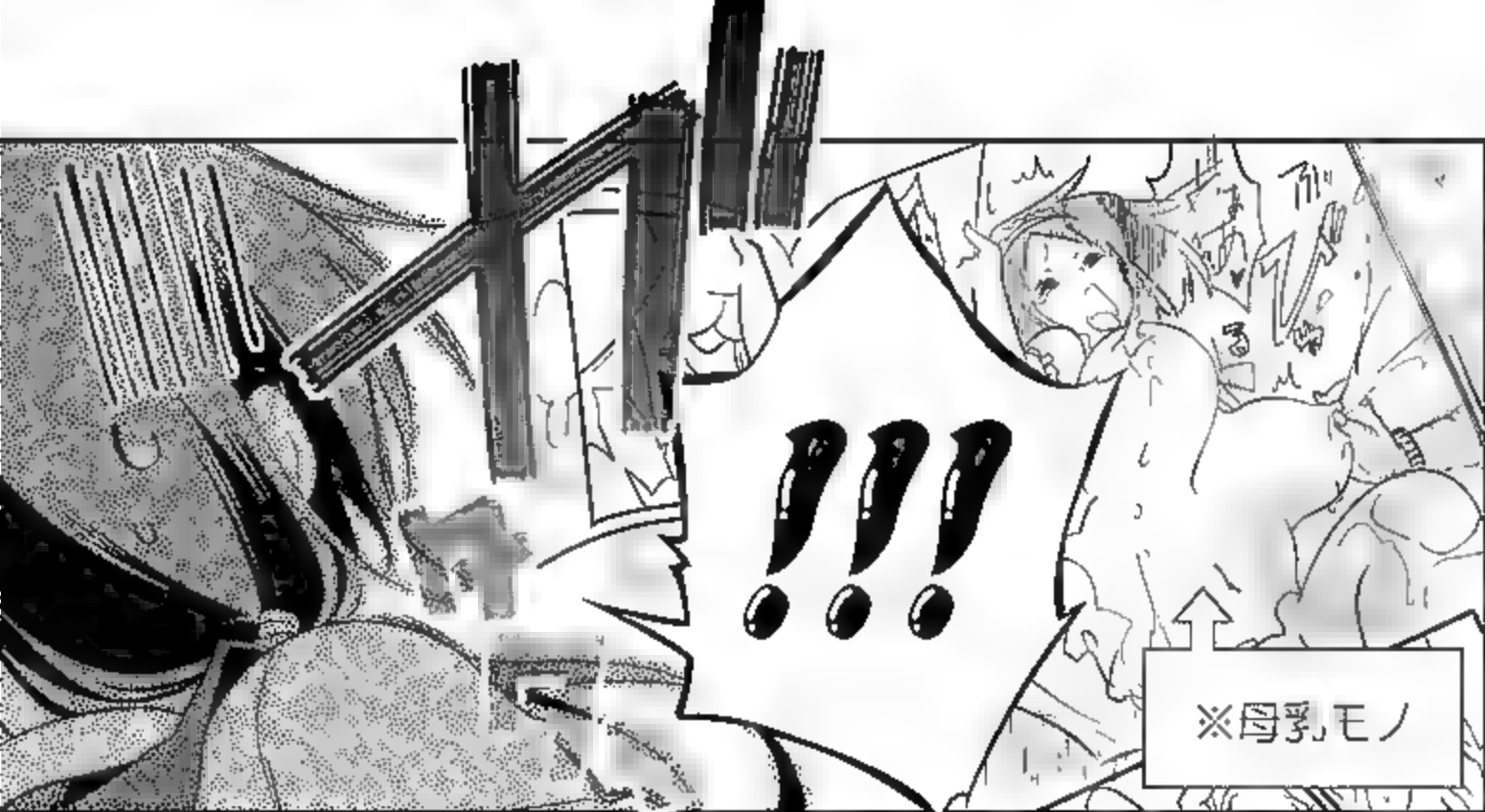
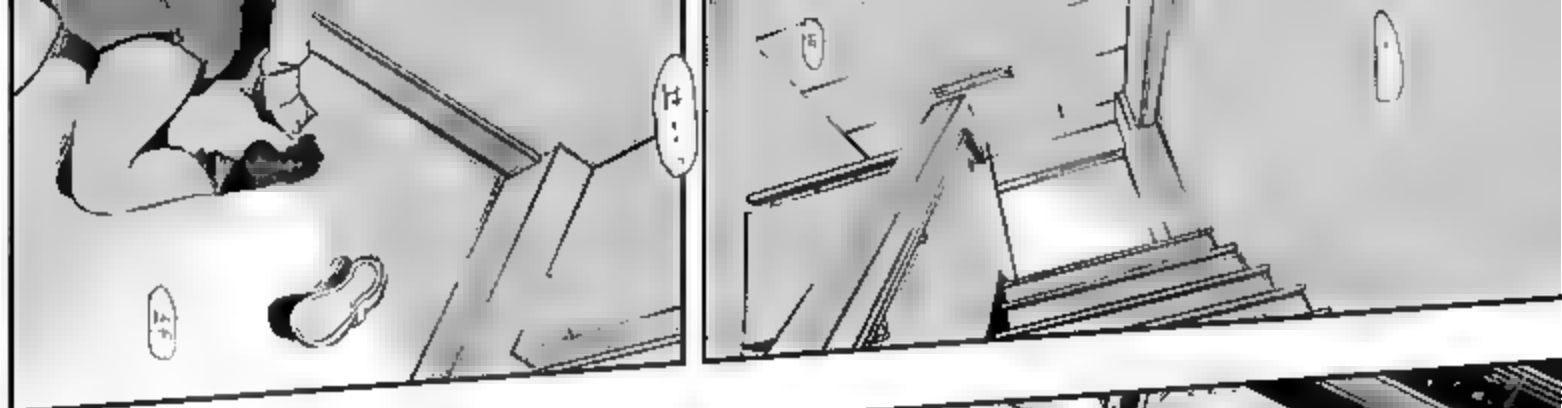
妾は蛇にして赤縄
怨を結びて
縁を切る者なり——

──さあ
呪いは身体に植えつけられた
後はそなたが無事〝怨〟を結びさえすれば呪いは成就するであろう

しゅう
……!

…あ
あの！蛇の呪いって…
〝消える〟ってどういう──

……
…あれっ？
…ちゃんと冷静に考えろ
呪いにしろその…ナニにしろ
そう簡単にやっていいもんじゃねえだろが…！
…俺の言い方が悪かったのは謝るからよ
…結局何者だったんだろ
あの人…

パ
チ
ん…
…今の…夢…
じゃないよね…
勢いに任せて
お願いしちゃった
けど――
カァァ…
そんなの
そっ想像も…
つかないし
好きでもない
子と…なんて…
絶対おかしいよ!!
それに
消える って…
もしかして
死んじゃったり…
するのかな
いくらなんでも
そこまでは…
思ってないし…
今のままでも
私が我慢できさえすれば
済むことなんだ…

んじゃねー
ざわ
ざわ
ざわ

なあ
さくらー

!!!
※母乳モノ

そんだけデカパイなんだからさー
オマエも頑張ればミルク出ちゃったりするんじゃねーの？

まぁたやってるよ稲葉のヤツ
いい加減にしなよねー
うっせーよお前らには関係ねー!!

何？

なにこれ…

なんで…
行っちゃうの？
なんで
笑ってばっかで
助けてくれないの？
私は本気で
嫌だって…
どうしてみんな
分かって
くれないの⁉

なーおい
無視すんなよ
櫻のくせに！

…ら
ない…よ
あ？

し…っら
ない…よ
じ 自分で…
試してみれば…
いいでしょ…⁉

ああー…
…い

いいの…
か?

や…だ

こわい

じっ
じゃあ…

ちょっとこっち来いよ!

え…
え!?

は…っ

ただ
虐めてる私を
利用して
女の子のおっぱいが
吸ってみたかった
だけでしょ…？

〝呪いは身体に
植えつけられた〟
…あ

ふっ…
どっどうせ
もっと…
してみたい
とか
思ってるんでしょ…
それで稲葉が
消えるなら
つっ 続き…
したら？
はっ…あ!?
おど
おど
おっ おおお前
なに言って…

は…
…何やってんだろ…
っ…
は…
あっ
…っし
したことねーから やり方とか…じじ自信 ないんだけど
え…あ
私も分かんな…から…っ
私を虐めてる男の子に
ぜんぶ…見られて

え!?
うわっわっ
わり…!!

正直 どっどこまで
平気なのか全然
分かんねーっつか…
女の子触んのも
初めてだしっ…

こんなことなら
兄貴の本でもっと
勉強しとけば…
じゃなくて!
あ゛ー…っ

謝っ…た?
私の身体を
気遣って…?
いつも…意地悪しか
言わない稲葉が——
な なぁ
…さくら? もしかして
喋れないほど
痛いのか…?
おろ
おろ
なんで…よ

だいいち
普段は
したい ように…
すれば…?
私が いくら
無視したって
——…
…あ

そう…だ
いつも——

私がどんなに無視しても

稲葉は

懲りずに何度も

何度も…話しかけてきて

――

…違う

違う!

…いいから

続きして…って

言った…から

今更…そんなそんな

稲葉に限ってそんなはずないのに…っ!!

ぐ…っ

ひやっ!?

えっ

あ

あ

…あっ!?
稲葉…
稲葉っ
わっ
さく…
さくらっ
あっあっ
稲葉ぁッ…い
痛…いぃッ
稲…葉…ぁ
――…!!
その…俺
言いたいことが…
だ…め…

おぉ　俺―
やめて　よ…
ホントはっ　ずっと
こんな…タイミングで
櫻のことが…っ!
そんなこと言われたら
私―…

いなば…？
うそ…っ
…え？
やだ…よ
稲…葉ぁ…っ

子孫を残すは
自然の営み
されど蛇の契りは
たちまち摂理を外れた
『儀式』となる…
無事〃怨〃は
結べたようだな
ビッ…!!
あとは
こんな風に…
・・・・・
断ち切る
ことで
対象は
現世との縁を絶たれ
消滅した
んん～…ッ
人助けというのは
気分がよいな♪
なあ
クビツリ
しるっ
…これが
こんなのが…
人助け…だと?

こんなのが許されていいはずないッ!!!

あいつらだって!!

もう少し話をしてれば分かり合えたかもしれないのに…っ

それは貴様の願望か?

可能性の話ならするだけ無駄だ

妾は あやつの望みを叶えてやったのだぞ?

自分を縛る『封印』を他人に押し付けてまで!!

てめぇは自由になりたいってのか!!

妾は確かに説明したぞ

生涯 誰とも結ばれない と

それはつまり
あやつが消した人間と共に『恋愛感情を失った』ことと
結果的には同じであろ？

何ぞ望みがあれば気軽に申すがよいぞ♪
妾にできることならなんで
もッ
──俺の
望みは
人の弱味に付け込んであんなガキにも平気で一生分の罪を背負わせる──
諸悪の根源たるあんたを殺して自由になることだ

――悦い
悦い悦いぞ悦いぞぉ♥
ならば貴様はせいぜい妾に尽くし
はぁ…♥
貴様が見事 契りを果たした時
…!!
妾は呪いで消滅し貴様もまた呪縛から解放されよう
はぁ
妾をその気にさせてみろ
自由になるのは妾が先か貴様が先か――
勝負しようじゃあないか

2年後――
あの日
稲葉は
蛇の言葉通り
目の前から忽然と
消えてしまった
例の神社も
怖い男の人も
散々探したけど
結局見つかることは
なかった
…私が望んだ
ことなのにね
そのために…
稲葉と…ここで――

あの…
――櫻さん
稲葉が消えてから――
初めて知らされた
ごめんね…ずっと見て見ぬフリしてさ
櫻さんが稲葉のこと迷惑そうにしてんのは皆…分かってたんだけど
あいつさー…すっごいガキだったじゃん？
櫻さんに構って欲しいのミエミエで
なんてゆーか…微笑ましくってさー
だから…もしあいつが帰ってきた時は
あんま邪険に…しないでやって欲しいっていうか…
悪意のようで悪意でない
あらゆる手を使って必死に私の気を引こうとしてたこと

それから私は——
途方もない罪悪感と
喪失感を埋めたくて

半ばやけ気味に
何人かと付き合った

蛇の言う
『結ばれない』は
嘘だった…

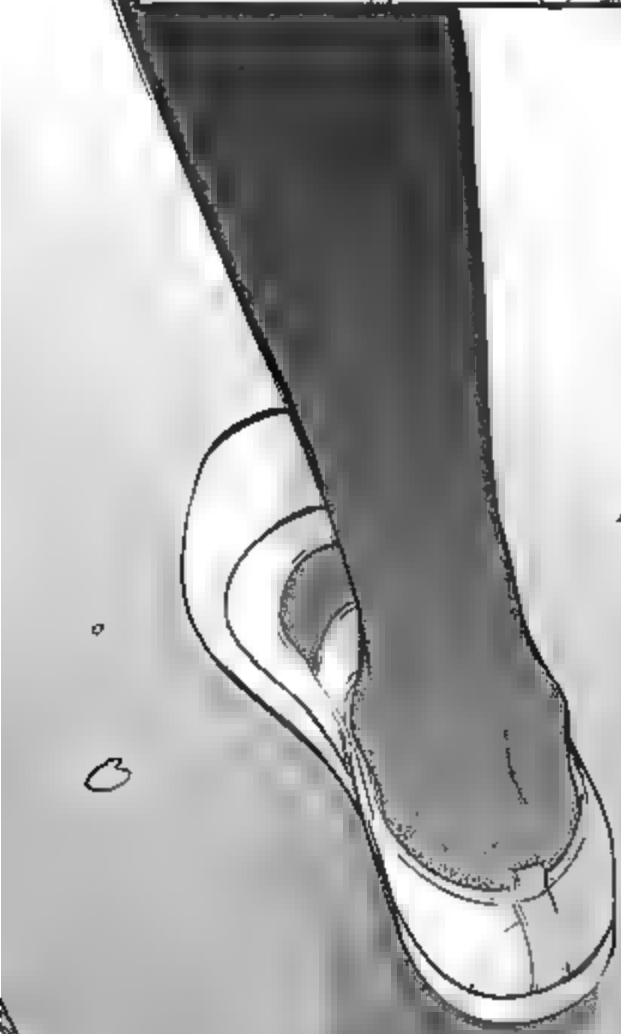
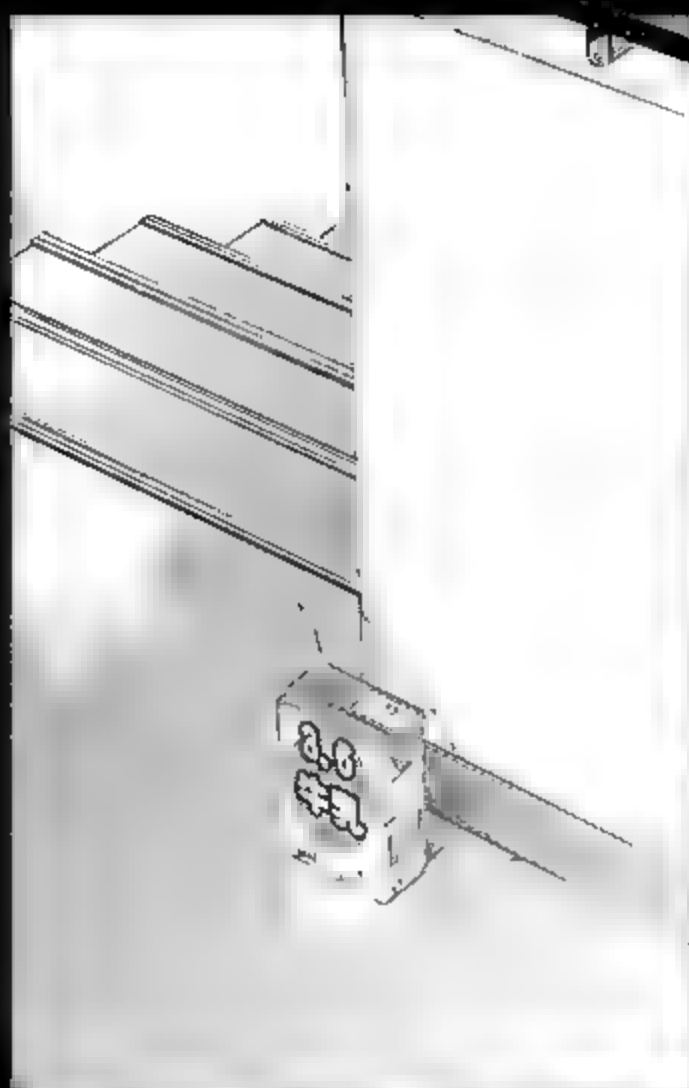
だけど

結局

稲葉が消えて以来
誰一人として好きな人は
できなかった…

——稲葉…

私…やっと
気付いたの

怨を結んで
縁を断つ……
でも本当は……
切られたんじゃなくて
あ…
もしかしたら私の心は
消えた稲葉と永遠に結ばれてしまったんじゃないかって――

ふっ♥
ふわぁ…っ
くりぃむ…
なんたる美味…♥
これが牛の乳とは
…!!
人間はまるで進歩のないモノだと思っていたが…
くりぃむだけはまさに人類英知の結晶と言えよう…♥
しかし!!
クビツリのくせに神である妾を餌付けとは〜〜〜…
喜べ大成功だ!!
今ならちゅー♥くらいは許してやってもよいぞっ
第二節❖アトノマツリ

悪いがちょっと出かけてくる
今度は何か暇つぶしになるもん持ってきてやるよ
お前も退屈だろ？
蛇
…あやつ
…あの話を持ちかけた途端従順になったのお…
そんなに妾と「せっくす」してみたいのかや？
しりが軽いがすこぶる
――なぁんて
な
所詮貴様にとって身体の契りなど
妾を消すための儀式でしかないのだろ？
他の依頼者同様に…な
せいぜい今を愉しませておくれ
神の妾と死人の貴様には
――悠久の時があるのだから

好きな子に
対して素直に
なれない奴と
それをイジメと
勘違いして
思い悩む奴
思春期ならば
ありがちで
ほんの
些細なすれ違い
それが蛇の『怨結び』
という呪いによって
一人の人間の消失という
最悪の形で幕を閉じた――…
あんな呪いは
間違ってる
呪いこそが
『悪』なんだ!!
これ以上…犠牲を
増やさないため
俺にできることは―
ご機嫌取りなら
いくらでも
やってやる
依頼人との
仲介役もな
…ただし
素直に従った
フリをしても
呪いの
成就だけは必ず
阻止してやる…!!

ザワ
ザワ
安登（あとう）まつり君
どうだい調子は！
…特に問題ありません
なんたって君は我が予備校の看板だからね！
そうかそうか！次の試験も頑張れよ！
！

千石（せんごく）!!

ぱっ

おーいっ 千石 揺（ゆるぎ）！

カン

せん…

あっ

あ〜〜〜…

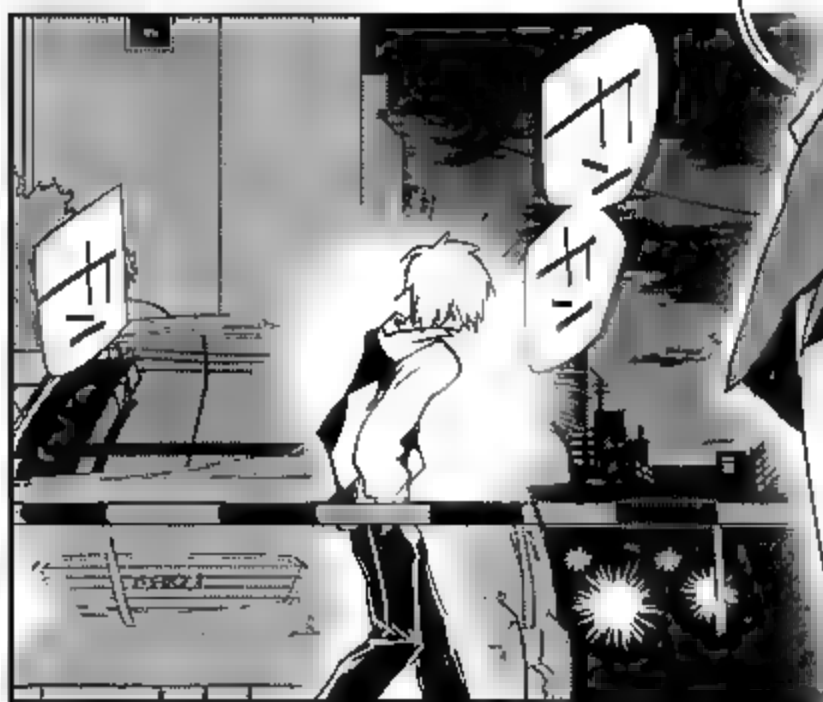
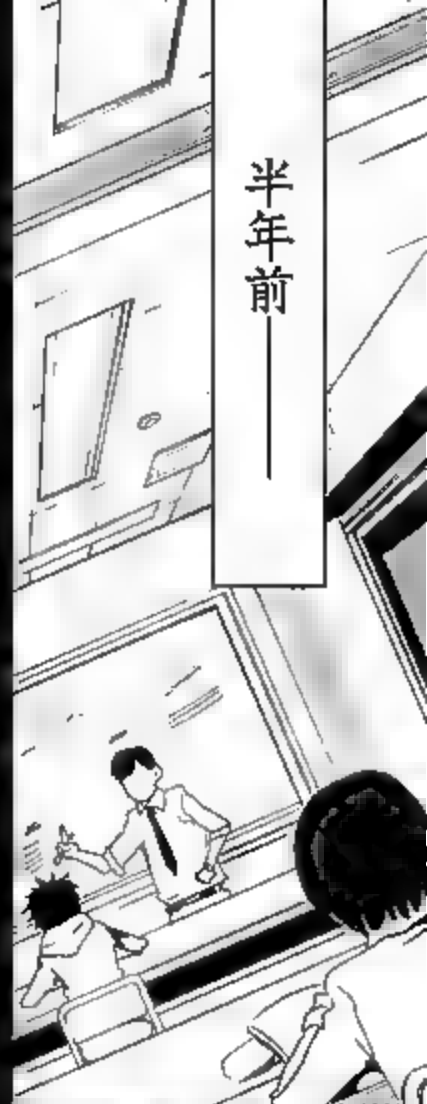
気付け馬鹿っ

このッ邪魔な踏み切りめ！

くぐるわけにもいかないし――…

カン

カン

……

半年前――
今日はここまでだー
土曜までに指定の範囲を消化してくること！
！
ドサッ
あれは…！
春から同じクラスになった――
出席番号9番
千石揺（ゆるぎ）!!

その格好──
さては勤務先の
制服だな?
げっ…
校則で
夜間のバイトは禁止
されているはずだぞ!
あんた確か
委員長…の
やっべー!!!
あっ
こら
待て!!
千石揺は以前から
度々補導されていて
噂になっていた
はっ
……!!
委員長たる私が
注意しなくては
はぁっ
はっ
はっ
はぁ

はーっ はー
たっ…確か…
この辺に
逃げ込んだ と…っ
は…
はーっ
揺イ!!
てめ
バイトは
どうした!
色々あって
抜けざるを
得なかったんだよ
すぐ戻る
っての!!
チッ
穀潰しが偉そうに
吠えてんじゃねえよ
ここまで誰が
養ってやったと
思ってんだ
……
…………

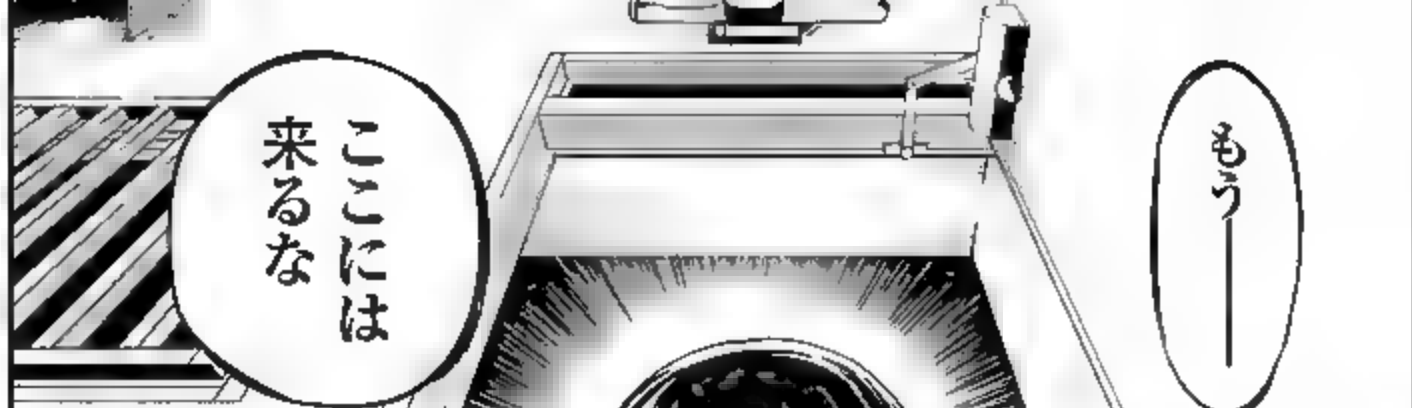
ギッ…
カサ
パンッ
…なんだお前まさか…
ここまで追っかけてきたのかよ
え…っあ…
!!
殴られるっ
…!!

…ぶっくはは!!
ちょおー執念深ッ
ぽかん
注意するために家まで追っかけてくる!? 普通!!
…えっ?
あ…
ああり
がと…う
そして
その時のあらゆる状況が
彼の置かれた複雑な家庭環境を容易に想像させた
……

――げっ
委員長…
今日は何…？
げっとはなんだ
学校のプリントを届けておこうと思ってな
さ さっき踏み切りでも声をかけたのに気付かないからわざわざ来てやったんだぞ
何せ私はクラス委員だからな
おっおう…あんがとな
今からまたバイトか？
あー いやちょっと時間あっから
それまでこいつで時間潰そうかなー…なんて
素振りか？
そういえば前も家の前にバットが置いてあったが
もしや千石は野球少年だったのか
なんか意外だな
あ〜…
………

…別に 練習って
わけじゃないんだ…
──ただ
そうしてる間は
頭ン中空っぽに
なるっていうか
…ラクになる
……
…？
そう…か
まっ
学校を欠席してる以上
一応は見つからないよう
努力しろよ
へーい
…ってか
仮病の欠席には
つっこまないんだな
お前
い－の？
留年するのは
千石であって
私ではないからな
ひでえ

……本当は
ケガや家の事情が
気にならなかった
わけじゃない
でも多分
今の千石は相談を
必要としていない
だから千石から
助けを求められるまでは
聞くべきじゃない…
家の事情なら
尚更だ――
ぎゅ
だけどもし…
求められたなら
私は…
迷わず手を
差し伸べよう

もう――
ここには来るな
…
え？
な…っど どうしてだ？ いきなり…!!
あの男がお前に気付いた
それは
今までずっと触れずにいた話題…
あの男って いつも寝てる お父さん――
…親父じゃないッ!!!

あいつは死んだ母親の再婚相手で…
赤の他人だ
母親は最期まで再婚したことを後悔してたけどな
それでも俺は母親が選んだ道を間違いだなんて思ってねー
俺が今 無事ここに生きて立ってることが その証だ
――だから
耐え抜いてやるんだ…
…ここを出るまで
そんな た 耐えるって――
うるっせーぞ 揺(ゆるぎ)イイ!!
…ああ? なんだ おめえ…
また その女 連れて来やがったのか

…やってらんねえよなあ――
俺は死んだ女のガキ養うために あくせく働いてよぉ…
挙句 事故って失業しちまったってのに
てめえは その間のうのうと学校で女漁ってたんだか――
…そんなんじゃない!!
こいつはただのクラスメイトだっての!
…委員長! 早く帰れ――
よこせ
…いッ!?

だったら寄越せよ

お前のじゃねえんだろ

ああ？

…離せえぇえ!!

……

…帰れって言ったろ…

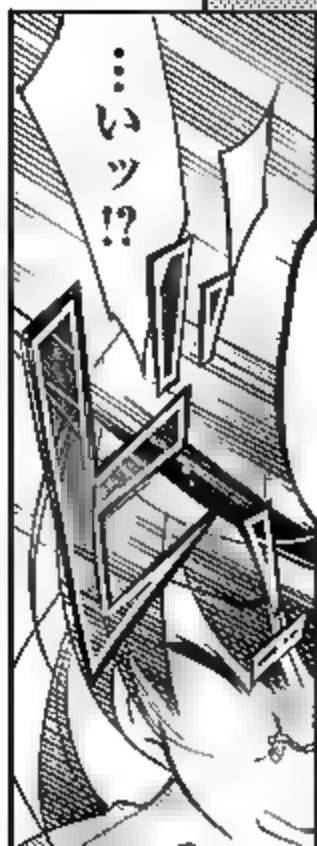
なんで戻ってきたんよ

……

どうしてっ…

あいつ無駄にガタイ良くってさぁ…

ギブスがまた硬ぇーのなんのって

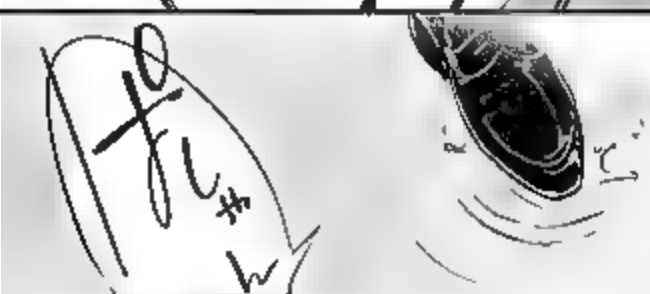
そうじゃないッ

何故警察に言わないッ!?

お前には関係ない!!!

そうでなくても相談できる場所は他にいくらでも——

…言ったろ？
卒業までの
辛抱なんだよ
それまでは どんな
理不尽だろうと
我慢するって
決めたんだ

いいか
絶対に余計なこと
すんなよ委員長
分かったら
二度と来んな!!!
ぱしゃん

完璧な──
『拒絶』…

…当然か
初めから
委員長ごときが
踏み込むべき問題じゃ
なかったんだ

…じゃ
『私』の
気持ちは…？

安登まつりはどうなる!?
私個人があいつを助けたいと思っても——
それすら無関係だと!?

このままじゃ千石が死んでしまう
どうしたら
どうすればいい

——あの男さえ
居なければ

『よく言った』

…ある人物がお前の願いを叶えたい だとさ
ロクでもない奴だが…話を聞いてみる気はあるか？

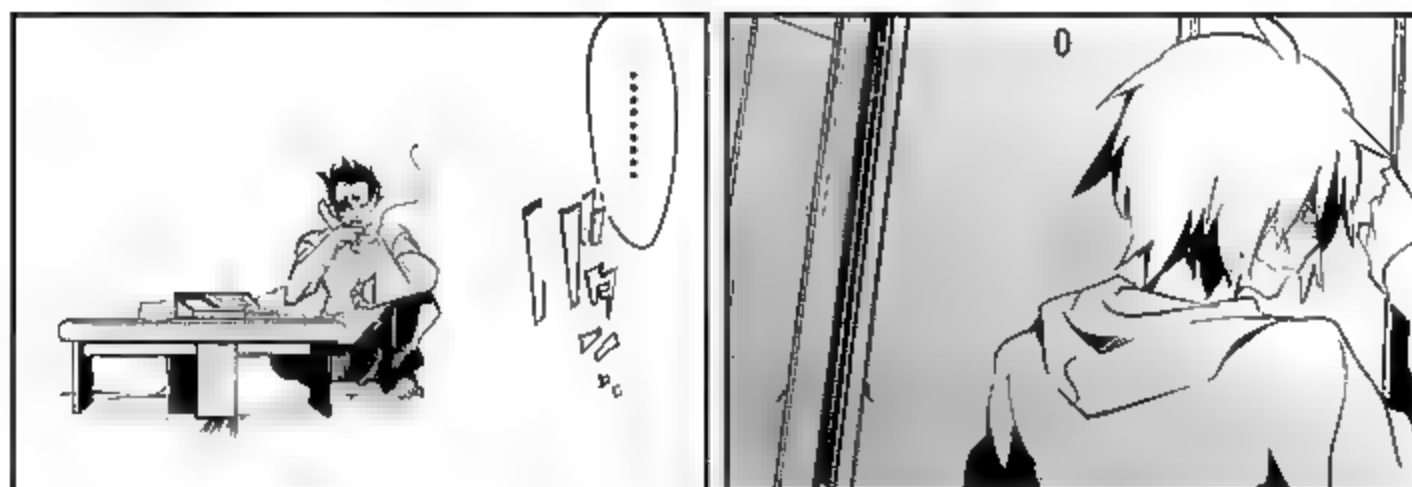
ああ…
実に心地良い
憎悪だ…
…いいだろう
妾は蛇
怨を結びて
縁を断つ者なり
この蛇が
そなたの願いを
叶えてやろう
ただし・・・
──

…困ったことがあれば相談に乗ってやる
なるべく呪いを使わない道を選ぶんだ
…ありがとう
あなたが何者かは知らないが
神の使いとは必ずしも神様の味方というわけではないんだな
…別に俺だって好きでこんなことやってるわけじゃねえんだよ
………好きじゃなくてもできるというのは…
…強いな
…私も——

私にも――
できるだろうか
…待っててくれ
今…自由にしてやる…から
……

出てけ!!

てめえのシケたツラ見てっと反吐が出んだよ

朝まで帰ってくんじゃねえ!

まさか
嬢ちゃんの方から誘ってくるとはなぁ

――セックス？
あの男を消すのにそいつ自身とせっ…
セックスしろっていうのか⁉︎
冗談じゃないッ馬鹿げてる…‼︎
強制はせぬ
だがそれで人間一人が消失する
決めるのはそなた自身だ
うッ⁉︎…
ん
でも
んっ…
もし困ったことがあれば相談に
なるべく呪いを使わない道を選ぶんだ
ひッ
くッ
相談なんかで助かる保障がどこにある？

今の私なら——
必ず彼を
救える…!!!

…なんだぁ〜?
マグロかよ

言っとくが俺は
初物だろうと
容赦しねえぞ

ただの
生殖行為だ

あっ
さてはおめー
初めてかぁ?

ひっ…

猿でも
やってる

こんな
もの

特別でも
なんでも

安登まつりが
自宅に帰ってこねえ!!
一旦距離を置いて冷静にさせれば
説得し易いだろうと一人にしたのが仇になった!!
くそっ!! どこ行きやがった あの女!!
まさか…
まさか!!
だって呪いをかけた直後だぞ?
いくらなんでも決断が早すぎる!!
頼む
間に合ってくれ―――…
安登まつりッ!!

…呪いじゃない――
どう…なってんだよ
こいつは…っ

…っちまった
やっちまった…
…った
やっちまった……!!
せっ…
あの
せんごく…ッ
…お前がッ!!!
ッ!?

お前のせいだ!!!
なんで来た!!
ビッ
ギッ
痛ッ
一人でヤツに遭ったらこうなることくらい分かってただろうが!!!
チッ
くッ
違っ…
わたしは…!!
…!
今まで…何度あいつに殴られようが耐えられた…
けど
もしも委員長が――…

そう考えた時──
絶対 あいつを
殺っちまう
耐えらんねえ
…って
思ったから
突き放した
のに…!!
私が
させた──
のか
自分は手を汚さず
呪いに頼って──
彼を
追い詰めた
もう…母ちゃんにも
学校にも…どこにも
顔向けできねえ
これさぁ…
どーしたら
消えるんかな?
拭いても
拭いても
消えねえ…
消えねえよ…
千石…
もっ 戻ろう?
今ならまだ…
引き返せる
──

それはもう無理だよ

今すっ…げえぇ――快感なんだ
あいつに耐えて7年
7年間ずっと妄想までに留めて踏ん張ってきたのがさ

現実じゃバットのたった一振りで終わるんだぜ

越えてはいけなかった
一線――

今まで我慢してきたのが馬鹿らしい…って
分かるだろ?
なあ!
私が

今も…委員長を滅茶苦茶犯したくてたまんないんだよ
頼むから…早く消えてくれよ
踏み越えさせてしまったんだ
私のせいで
千石揺(ゆるぎ)は……もう――
…私が行った後…どうするつもりだ
…死ぬ気か？
……

…一人で死なせるくらいなら——

私が…消してやる!!

い 今の私は…すごい魔法が使えるんだ!!

私をだ だ 抱いてくれるだけでいいッ!!

そしたら お前もお前の罪も全部綺麗に消してやれる…っ

ほ 本当はあの男に使うつもりだったんだが——

……は

じゃあ
消される前に
――最後だけ
〝まつり〟って
呼ばせてよ
…そっ
そう…だな
そうして貰えると
…嬉しい…
…まつり

はぁっ はぁっ
すげ…震えてんですけど 良一
ふ 震えてなんかない!!
男なら遠慮せずズドンと来い
――…っ
わぁかったよッ
だったら…
まるで何かを刻むように…
溢れる衝動を何度も何度もぶつけ合う
好きなひとを呪うための歪な行為…
だけど千石…
本当はこんな形じゃなく

私は君と普通に
恋をして
結ばれたかった
…なあ…
千石──
消えた人間は…
どこへ行くん
だろうな…？
知るかよ…
お前の考えた
魔法だろ…？
ちゃんと設定
考えとけよ
なぁ…
…そうだな

もし此処ではない
どこか別の世界へ
行けるのだとしたら
私も――
一緒に行こう…
ザ
ザ
ザ
……
……
…
安登…まつり
何故…千石揺に
呪いを使った？
何も消さなく
たって…
お前が一生抱える
『代償』だって
決して安くは――
し
ん
…
…？
！
…お前――
安登まつり…か？

……
？
——そうか
…あの娘
記憶を失うたか…

ふむ
怨結びの〝代償〟としては少々面妖だの…
…あんなのは記憶喪失なんてレベルじゃねえ
赤ん坊と変わりなかった
あれじゃまるで——…
まるで…
…魂を手放したようだとでも？
…そもそも身体の契りは手段に過ぎぬ
呪いの本当の代償は——
誰かと結ばれる『縁』という可能性
だから呪いが成就すれば生涯誰とも結ばれなくなる…って言うんだろ？
ご名答だ
確かに『安登まつり』の中身がいなくなってしまったのなら
以後彼女と結ばれる者はもうおるまい
………か
消滅した人間がどこへ行くのか
考えたこともなかったが——

もし仮に――

呪いのその先が存在するのなら…

あやつは今魂のみの存在となって

男の旅路に同行してるのやもしれんな……

綺麗に…まとめてんじゃねえよ…

俺は――…

間違っているのか？

それで二人の魂が救われたとしても

呪いこそが『悪』だと拘っていた俺は…

残されたまつりの身体はどうなるん…

クビツリ

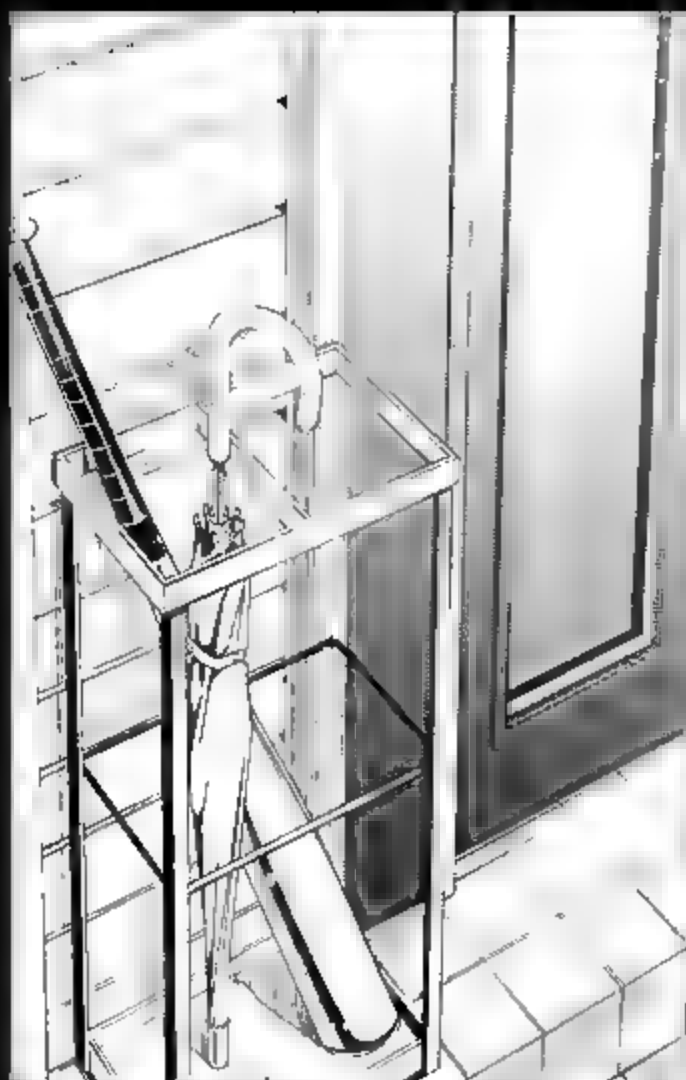
貴様

妾との勝負を忘れてはおるまいな？

貴様は自由になりたいのだろ?
だったら妾をもっと悦ばせろ
妾を惚れさせてみろ
そうでなければ勝負にならぬ
つまらん感傷に流されて目的を見誤るなよ
そう…だ…
結局自分のためにあいつらを蛇に捧げてきた——
俺こそが悪なんだ
今更何を迷っている?
——ああ…乗ってやるよ
自由なんて…もう関係ねえ
蛇を殺すためなら——
俺は悪に染まっても構わない
こんな下らない呪いの連鎖は俺が——止める!!

ねえ…知ってる？

怨結びって呪いの…話

第三節❖愛のキョウ宴

なにそれ
最初はH体験談的なトコに書き込まれた話らしいんだけどね
人を強く憎んで『消したい』って念じると
男の人が現れて神社に連れてかれるの
そこでね『呪い』を貰って嫌いな奴とHすれば
相手は霧のように消えるんだ…って話

え〜〜〜…無理ッ
嫌いな奴とでしょ？絶対したくね〜!!
その男って…何者？
てか幽霊？
首にぶっとい縄を巻いてるから
『クビツリ』って言われてんの
へ〜っ
あっ おい お前らぁ〜

昨日補習サボっただろ!?
じろ
じろ
次やったら承知しないぞ〜〜?
…キモ田の奴スカートの中見過ぎじゃね?
超見てた
ズン
ズン
うーわっお前のためによ見せてんじゃねーって
…そだ!
ねえ…さっきの「呪い」ってやつさぁ…
…
……
乙梨(おとなし)イ
ちょっと頼みがあんだけどー♪
………
…はい?

あんたが依頼人の『乙梨叶』だな
……!
そいつが消したい奴か
…はい
噂は本当なんですね…
さすがにちょっと驚いたかも

あの蛇を殺すためなら

俺は悪に染まってでも

そう覚悟したつもりだったが…

…だいいちこんな忠告で防げる程度なら

初めから俺を呼び出したりはしないか

んー考えることは特にない…です

消したいのは私じゃありませんし

クラスメイトの代わりです！
いじめられてるんですよ
私
この人は そのいじめっこが毛嫌いしてる先生です
彼女らの遊びの一環で呪いを私にやらせようってことで――
言われた通りにしてたら本当に来ちゃうんだもの
うふふ♥なんだか夢みたい
…ま
まて…
ちょっ…と待て！
怨結びの概要を知ってるのか…
じゃあお前は何だ？他人に脅されて身体を差し出すってのか？？
…いえ

平穏のために従う
…と決めたのは
一応私の意志ですね
まあ…今後のことを
考えて最善の判断を
したまでで――
馬鹿野郎ッ!!!
そんな馬鹿のために
消される奴のことも
考えてみろ!!
それで てめえが
一生モノの傷を
負うってのなら――
お前も立派に
馬鹿の仲間入り
すんだぞ!!!
いじめ？
遊び⁉
いったい
あいつらが
どんな想いで…ッ
……ッ
…悪ぃ…
怒鳴ったり
して――

ぽろ・・・
ぽろ・・・
…ふっ
うぅぅ
うぅ〰〰〰…
だっ
なッ
泣くこと
ないだろ!?
脅かした
ことは謝る!!
けどな!?
やっぱりお前の
言ってることは
無茶苦茶だ!!
一旦冷静に
なって——
やめます…
あ!?

こんな私のために叱ってくれた…!

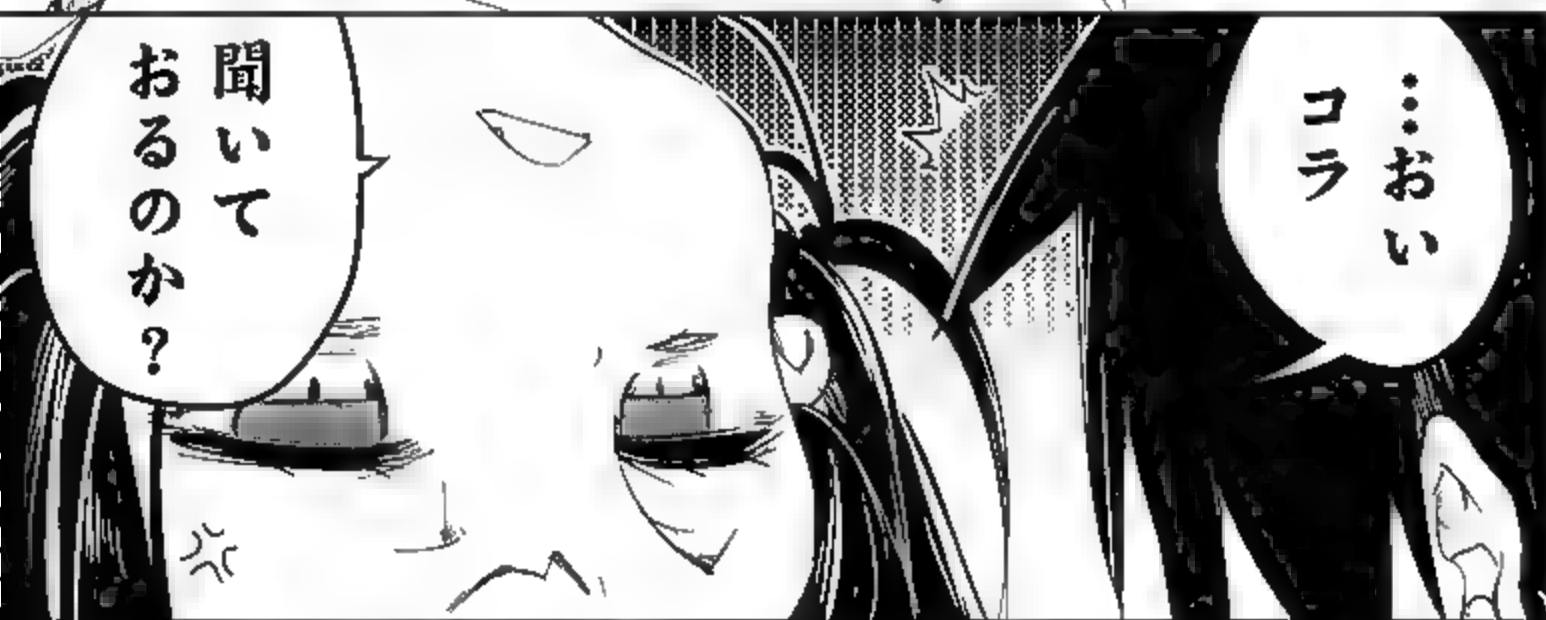
私も…あなたの助けになりたい――

クビツリよ
今日 連れて来る予定だった呪い人はどうした？
…あれは
依頼人の意志でナシになった
なんだと？
…救えた…？
なんだかよく分かんねぇけど…
…初めて呪いを未然に防げたんだ…！
まぁよい
それはそうと次のおい1つはこれを所望したいのだがく…♥

私…いつも学校前の公園を通って帰るんです

だから…あの

よかったら…また――

ぎゅ…

…おいコラ

聞いておるのか？

あっ
わぁあ 嬉しい!
とてて
先日の様子じゃ もう会えないかなって 思ってましたから♪
いや 今日は その… 呪いとか関係無しに 聞きたいことがあって
えっ?
それは… 天杉堂の 天杉ロールですね
…知ってんの?
えっ 有名ですよー
これも 女子力って
うふふっ
何が 可笑しい

だって…
都市伝説に出てくる
『クビツリ』さんが
話題のスイーツ
探してる なんて
なんだかおかしくて♥
ぷんぷん
…というか
未だに信じられ
ないです
腕に
あ…あいつ曰く
俺は死んでるらしい
からな…
実際 自分でも
よく分かって
ねえけど
普段 食事も睡眠も
不要な身体が 普通で
ないのは確かだ…
じーっ…
こうしてると
普通の人と
変わらないのに…
…あいつ
って
じゃあ
そのケーキは
もしかして
〝あなたに連れて
行かれる〟っていう
神社の…

『蛇（くちなわ）』という自称神のためだ

そいつが最近やたらと俺をパシリに使いやがる

すぅ～…

で、

こーいう洒落（しゃれ）たモンがどこにあるのか見当もつかなくて途方に暮れてたんだ…

…これは地方だからお取り寄せかなぁ…

げっ

通販はムリぜ…

あ！でも今なら丁度デパートの物産展で手に入るかもです

デパート…？

…でもその真っ赤な縄デパートの中歩くにはちょっと目立ち過ぎですよね…!…

外せないんですか？

ぐぎぎ…

なんでか取れねえ…っ

――じゃあ
今度私が
代わりに買ってきて
あげますよ♬
!
ホントか――
そしたらまた
あなたと会える
から…ね♥

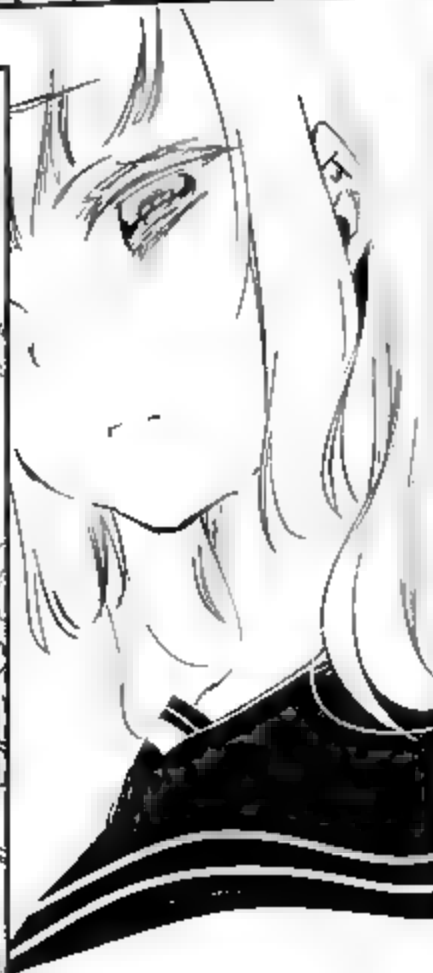
ドサ…
…呪いの連鎖を断ち切るため——
多少の犠牲は…仕方ないんだ

全ての呪いが
乙梨叶のように
止められるわけじゃない
ごめんなさい…
昨日は急な用事で
潰れちゃって
まだ買えて
ないんです
いや お前が
謝ること
ないから
…頼まれて
くれて感謝
してるし
…別に急ぎじゃ
ねえんだ
じゃあ…折角だから
あなたの話聞かせて！
呪い
とか――
神さまって
どんな人なの？
……
…

たとえそれが――
どれほど理不尽な
呪いであっても
どーもねー
ウザい奴が消せて
スッキリしたわ
早い時間に
行かないと売り切れ
ちゃうみたい
土日まで
待ってくれる？
いいよ
いいよ
神社って
どこにあるの？
あー異次元に
飛ばされる
感じ…
普通の人間は
俺に触れてなければ
神社には入れないように
なってんだ

だから
呪って
呪って
……
……

…さん…
クビツリさん？

…大丈夫ですか？
ひどく…疲れてるみたいですけど
——悪い…ぼーっとしてた
天杉ロール…ありがとな
——そういや…例の馬鹿共は最近どうしてる？
バカドモ…？…ああ！
すっかり忘れてました♥
おいおい…
しかし結局
なんだってお前みたいな底抜けに明るい奴が狙われたんだか
……

…たんだけど
ちょっと証拠を集めて脅しをかけたら一斉に離れていきましたよ

お前…やれば出来るんじゃねーか

なんで今まで…

親が荒立てない限り些細なイジメなんて明るみには出ないものでしょう？

どうせ学校は見て見ぬフリ

……

だから あの子達は私になら何しても平気だって思って——

……
今までは…特にそうする理由もなかったので

でも…っ
ほとぼりが
冷めたら復讐
…されるかも
!?
何ッ…

…冗談です
…でも
私の気持ちは本当…だから

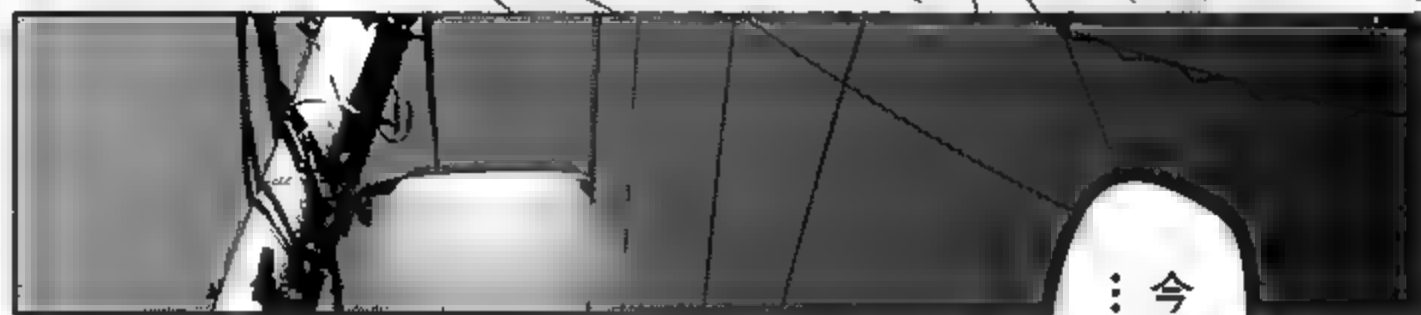
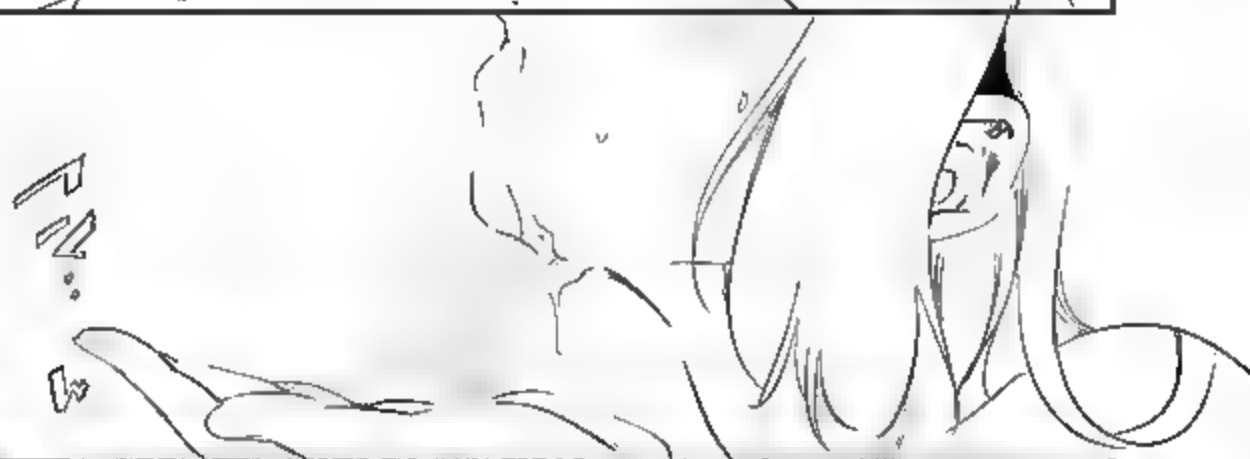
〝あなたの助けになりたいの――〟
……
…ふ
っん
ちゅぽ
…うふふ❤
死人だ なんて言うから ちょっと心配してたけど
はぁ
はぁ
ちゃあんと正常ですよぉ…？
は、
むにゅっ❤
まずいって
なんれれふか？
なんでってお前にこんなことっ…

あなたは優しいから…

独りで辛いこと ずうっと耐えてきたんでしょう？

…いいんですよ 今だけは

我慢―― しないで……

んっ♥

あ…♥
今週だけで…5件
月なら20は超えたか…
それだけの人間が運命を狂わされた…

…怨結び…
…あなたがそんなになってまで
蛇に従う理由は何…？
…あいつを起こした責任…
それと
犠牲になったガキ共のためにも
俺がやらねえと…
蛇に認められれば
呪いを使ってあいつを止められる
そう約束して…
─嘘よ!!
騙されてるに違いないわ！
そんなロクでもない
神さまとの口約束なんてッ…
このままじゃ──
あなたが先に壊れちゃう!!
別にそんな大袈裟じゃねーって
ちょっと疲れてるだけだ
…じゃあな
叶

…甘いのよ
もっと楽な方法があるのに
クビツリさんは気付いてない…
蛇って子に情が移ったために
自分が苦しむ方法ばかり選んでることも
ポポ…

あなたに出来ないなら――

私がやってあげる

〝――俺が触れてなければ神社には入れない――〟

…噂というものは
火が点けば瞬く間に拡がるものだ
故に極上すいーつの天杉ろぉるがなかなか手に入らぬのもまた
噂に人が群がる結果といえよう――
カラ…
…らがまぁそのおかげで――
随分と自由が利くようになったぞ♪
クビツリよ！
ここのところは実に良い働きであったなー!!

いつからこうなった？
蛇のパシリなんて
途中からどうでも
よくなってた
…途中で
突き放すことも
出来た
でも　あの時――
蛇も犠牲者も
みんな
放り出して
救われたいと
本気で

……
…ふむ？
ひっく
…たまにはぁ…労ってやるとするか！
よいか？刮目して しかと見届けよ!!

ひっく
どぉだ♬
驚いたかぁ？
今の妾なら
こぉんなことも
可能なのだ！
着た
ス
それから――…

!?
ッて…
いきなり何すん…っだ!!
ッ…
喚くな
少々痛むが我慢しろ――
神をも消す特別製だ

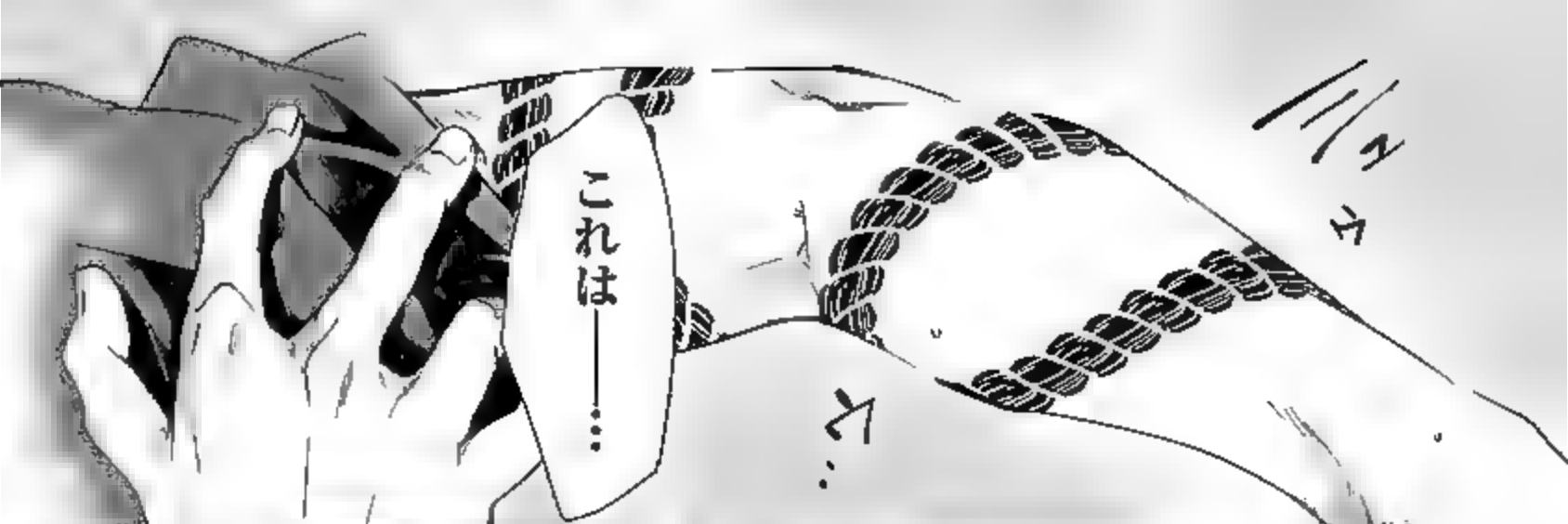
これは——……

…約束したであろ？

これで貴様は妾を消す刃を得た…

妾のためだけの呪いだ

貴様の身体は生者のそれとは違う

…ふむ

…とはいえ短期間で精神に負荷をかけすぎたな

愚か者が

お前がこき使ったんだろうがよ…

…ん？

動けん

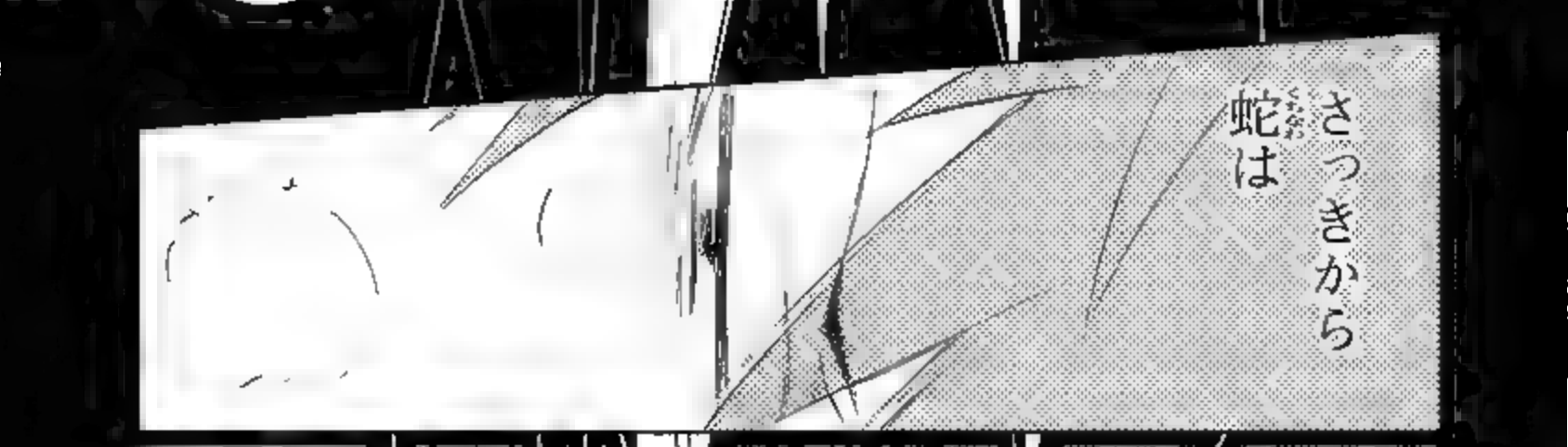
…なんだ？この…匂い――酒？

ぴくん

…それにしてもぉ…

これほど狂おしい憎悪を向けられるなど…
久しく無かった…♥
……!?
貴様が苦悩すればするほど
妾は…あっ♥
すぁ
んっ♥
なんだそれ…!?
う
あの蛇がこんな――…
あ
あ…♥
あ
あっ

…んっ
う…動けぬ貴様は
そこで見て…っ
見ていろ
くっ
これも…
褒美…っ
…
きれいだ…
妾が…
憎いか？
はぁ…

妾(わらわ)は・・・
悪(あく)か？
・・・悪なんか
じゃねえ
最・・・
悪だ
お前は何人消えようが
苦しもうが何でもねえって
ツラしてる・・・
無邪気さ故の
悪なんだ――
・・・くっ
くふ
ふふふふっ・・・

それで良い
貴様が居て初めて妾はそう認識できるのだからな
さっきから蛇は
何を言ってんだ…？
…お前は

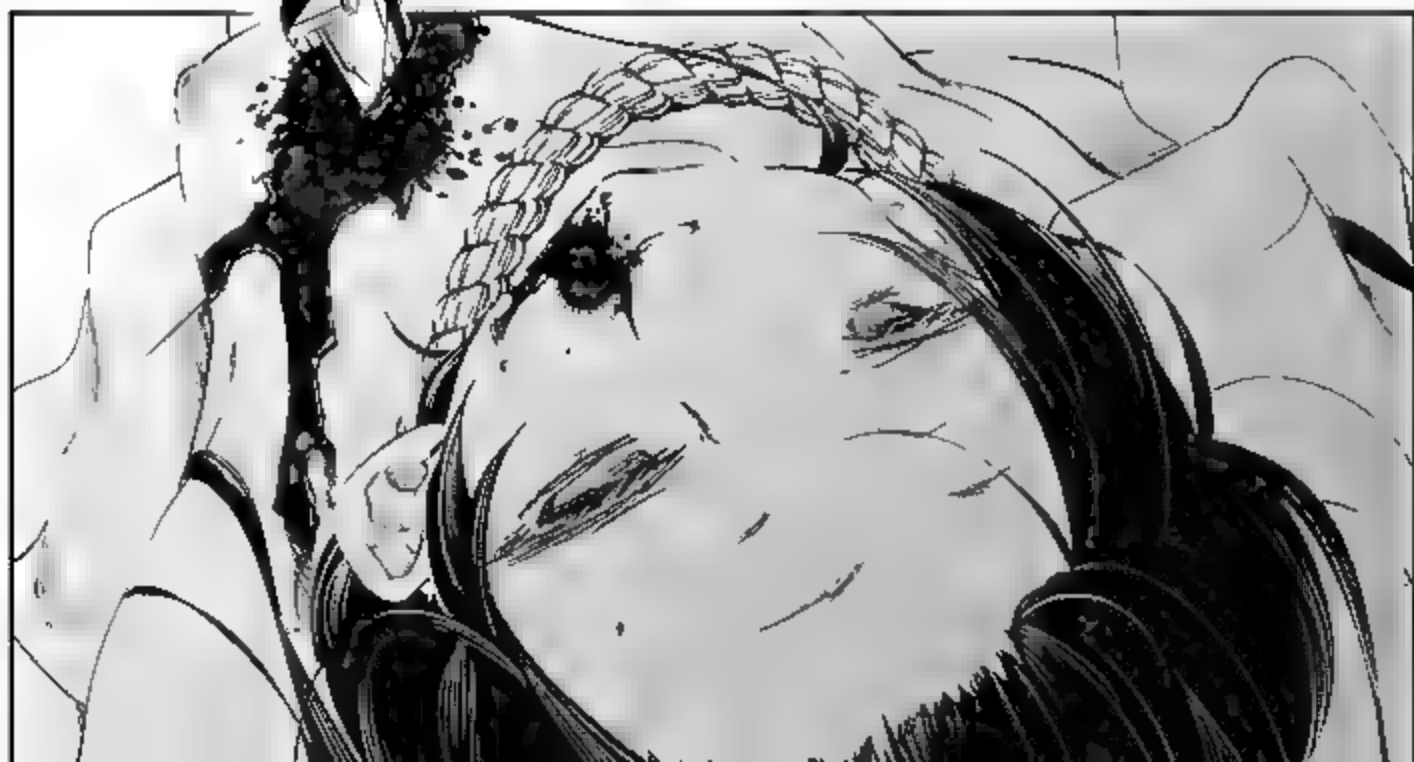
お前は妾（わらわ）の失った

の代わりだよ

ザァ
面──
ザザ
ザザ
赤い…絨毯
…ああもう紅葉の季節か…
！
ハッ
いつもの神社…⁉
──そりゃそうか…
一面の紅葉なんてただの夢──
ブルッ

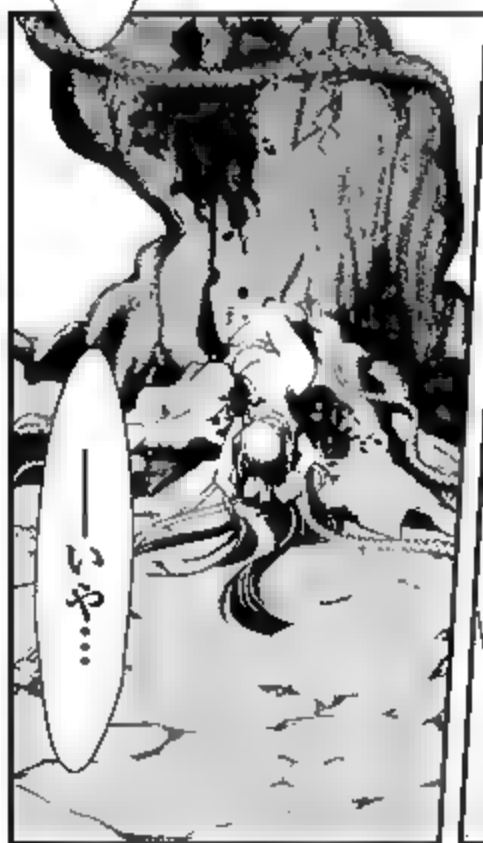
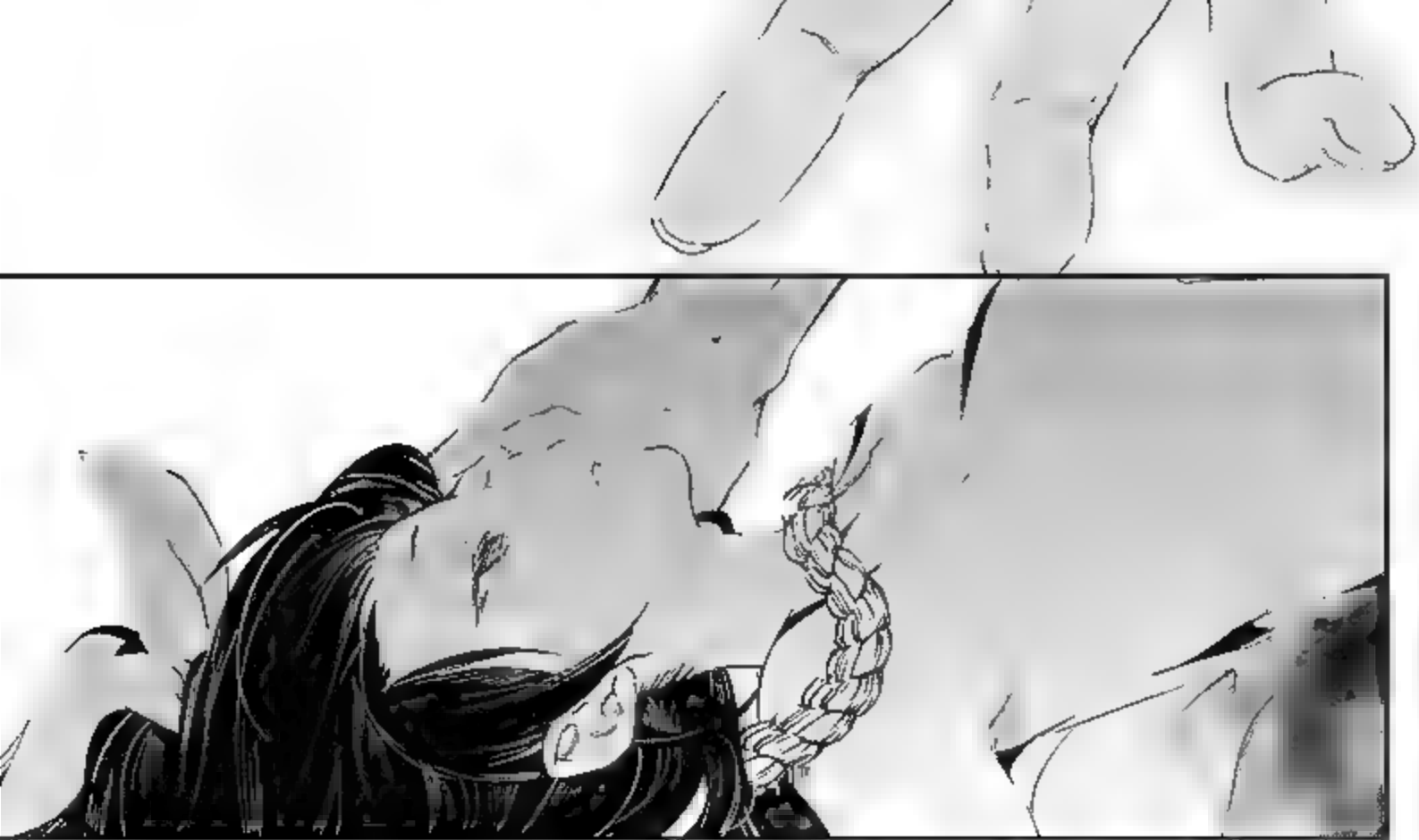
第四節❖クビナワ

死んでる…!?

蛇が…

なんで殺され…て…

くそ…そっからの記憶がねえ
蛇の様子がおかしかったのは確かだけど
誰だ!!
あの後…いったい何が──
ザッ
ザザ…
──まさか
ザッ…
蛇を…殺した奴が
そこに…!?

…き
叶（きょう）…？

クビツリさんっ…!!
なんで――お前が此処に…!?
分かんない…っ
気がついたら神社で…
私を見つけた「蛇」が
ひどく…怒って
私…!
このまま殺されちゃう って咄嗟に――…
…じゃあ
まさかお前…が?
お前が蛇を――

…帰りましょう？
こんな所居たくないっ……
早く…連れて行って…っ
…あ
ああ…
そう…だな
——いや…

蛇に触れたのは――
何度目だ…？

…お前から温かみなんて一度も感じたこと無かったし
血なんか通ってないんじゃねーの？って
本気でそう思ってたけどな…

もっと冷たいはずの
今は…

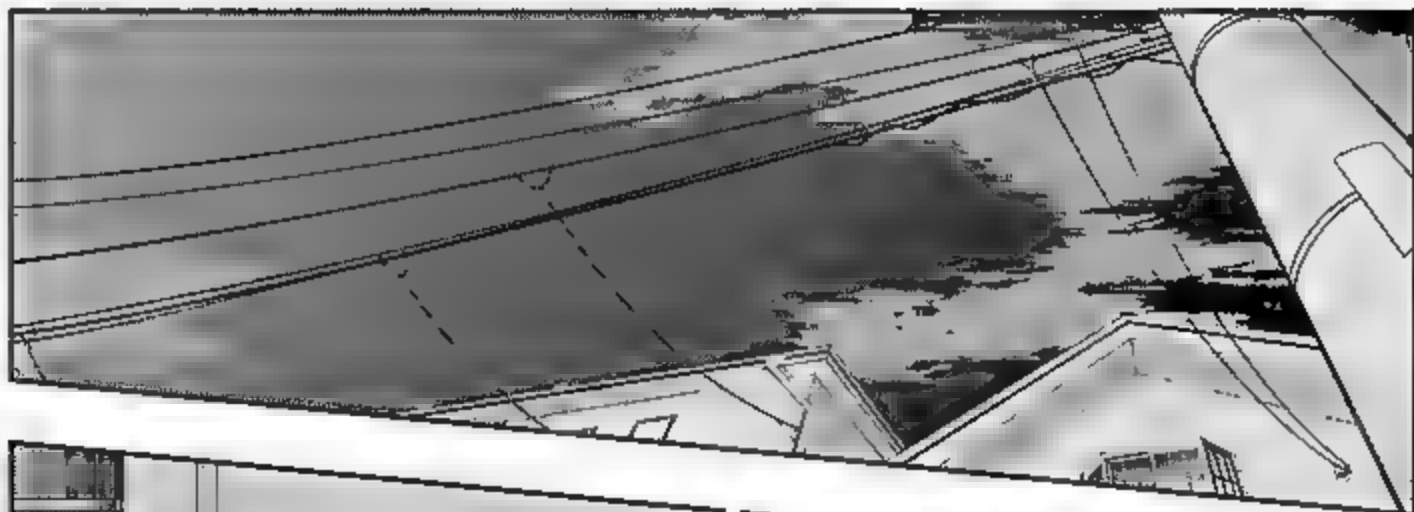
いつも憎たらしい余裕の笑みを崩さなかったお前が

俺にあんな姿を晒して……

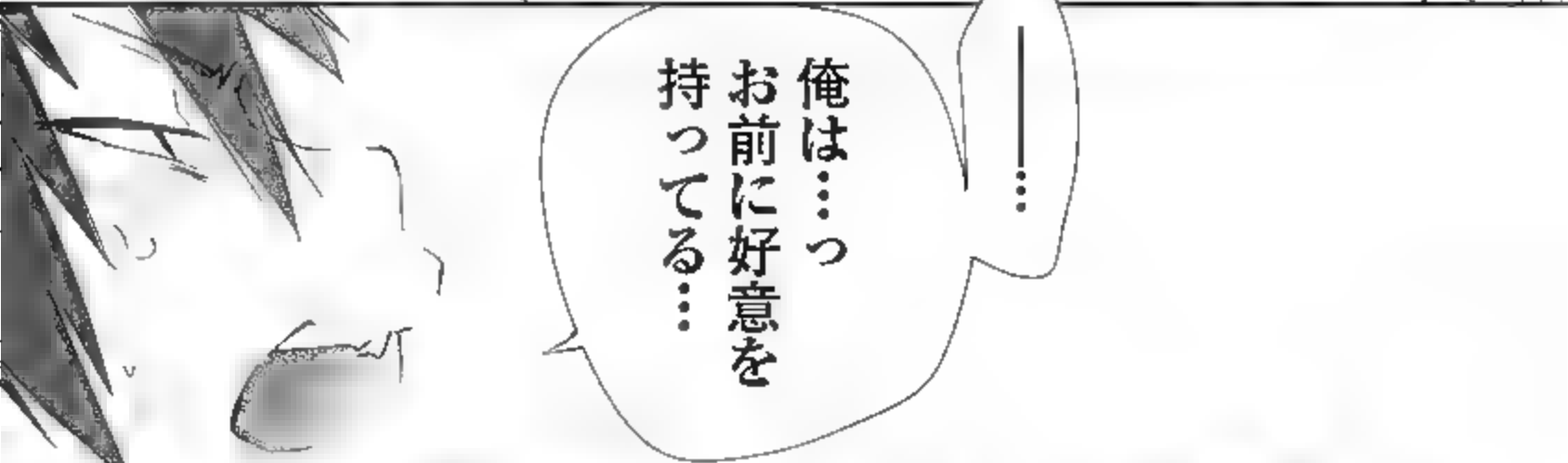
あん時は思わず
最悪だって
返しちまったけど

それが本当に
正しかったのか

今の俺には…
分からない――

ギシ…
…お
ギシ…
ギシッ
おい！叶
付いて来いって言うから来てみればお前
ここっ…

ごめんなさい
狭くって…
叶の部屋…なわけないか
家具は適当な寄せ集めみたいだし
なんでこんな場所が…
あ どうぞ座って待ってて下さい♥
いや…
それはいいんだけど

…………
ギシ。
はぁあく……
こいつは一体どんな状況だ？
立て続けに事が起こりすぎて頭がついていけねえ…
……
咄嗟の自己防衛で——
…あんな
躊躇いもなく心臓を一突きに出来るもんか…？
そんなことは有り得ない
あらかじめ全て準備されていたかのようなこの状況は——
ガチャ
あ、叶！少し話が——

あの…お待たせしました…♥
ぴら♥
!?
きょっ
な はぁあ!?
その格好…!!
私 寝る時いつもは裸なんですけど…
クビツリさんの前でそれはさすがに恥ずかしくって…♥
いっそ裸の方が健全なんじゃねえの…!?
…ね
あなたの悩みはぜーんぶ…解決しちゃったんだから
これからのこと…考えましょう?

だから――・・
公園の続き…
して
くれます
よね…
――…
俺は…っ
お前に好意を
持ってる…
じゃあ…♥
だっ
だからこそ
こうして…
助けてくれる叶に
――
今からとても
失礼なことを
聞く

お前――
いつから蛇を殺すつもりだった…？
……あれぇ
ばれてたんですね…？
――でもこのタイミングでそれ…聞きます？
別に終わった後でも…
………
ついでにあわよくば私のこと都合よく利用しよう――
…くらい考えてくれても別に構わないのに
もう…ほんとに馬鹿正直な人…
そこが良いんだけど♥
…そうですねー

あなたが私を叱ってくれた――あの日から
どんな障害であろうと排除するつもりでしたよ…♥
私の身になってあんなに怒ってくれた…
仕事で地方に一週間ほど滞在するので
食費置いて
…うちの親とは大違い
彼は他人のことで傷つくことができる優しい人なんだ…
――すごいすごい…！
本当に都市伝説のクビツリさんとお話しちゃった…！
そしてきっと――とても弱い人………
乙梨（おとなし）イー

ちゃんと呪い試したぁ？
つーか実際何も起きなくても念のためさぁ
ハメ撮りまーだぁ？
キモ田とヤっとけって言ったよね
親んの？飯マズくなりそ…
…これまで特にこうする必要もなかったから
あなた達の下らない暇つぶしに ずっと付き合ってきたけどー
今は一分一秒でもあなた達に費やしたくないの
私の前から消えて

バタ
バタ
バタ…

あー…バレたら呼び出しかなぁ…

まぁ…いっか
彼とも約束したしね♥

……！

…

情けねえ……

こいつが…叶が蛇を殺そうと物騒な策を巡らせてることにも気付かず

肝心の俺は…人日和ってたってわけか——

ケーキにお酒を入れたのは——

食事をしない
あなたよりは
蛇の方がよほど
人間っぽそう
だったから
どう？
うまく効いてた
でしょう♥
ケーキ…
酒!?
あっ!!

〝酒の
匂い…？〟
そういう
ことか…
ようやく合点が…
一番の問題は
神社に侵入る
手段でしたけど

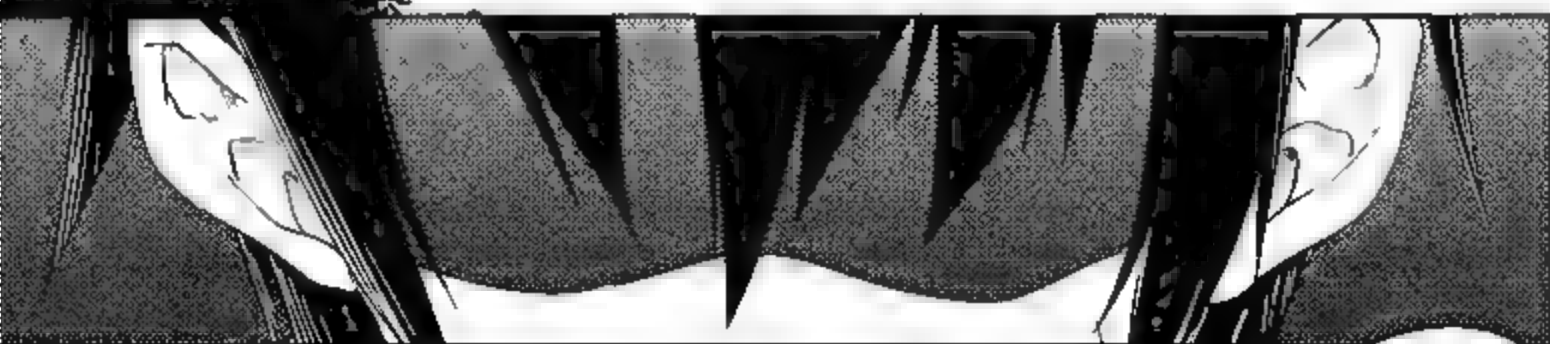
それだ！
お前どうやって
――
こうなりゃ
徹底的に追求
してやる。
これぱっかりは
クビツリさんでないと
どうにもならないし
だからね
・・・・・・・・
あなたの一部を採取して
体内に取り込んじゃえば
いいんだって気付いて

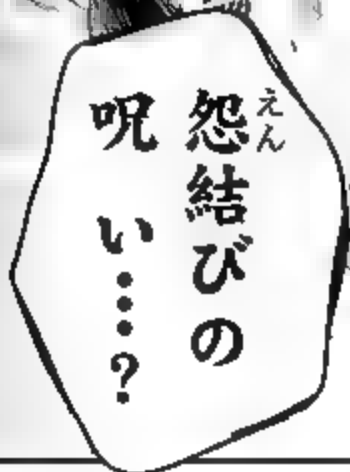
お前――そのために…

あんな こと…

あ 誤解しないでね？

クビツリさんのだったら作戦無しにいくらでも…♥

でもあの時はたまたま一石二鳥だったので

…確かに
あいつを止めるのは
俺の目的だったよ…
けどな
今の話を
聞いても納得は
できねえ…！

お前がやっていい理由にはならねえし——
あいつは俺がやるべきだったんだ!!!
お前らの間には
なんの因果も縁もなかったのに——…
痛ッ…
怨結びの印…が——
そんな小難しい理屈分かりませんよ
いいじゃないですか結果オーライなんだから…
…クビッツリさん?

もしかして…これ

怨結びの呪い…？

!!!

死んでても殺す
灰にしてでも殺すッ
呪いが消えるまで
バラバラにしてやる!!!

許さない許さない
許さないッ!!!

そうか！神社…

はっ

叶(きょう)――

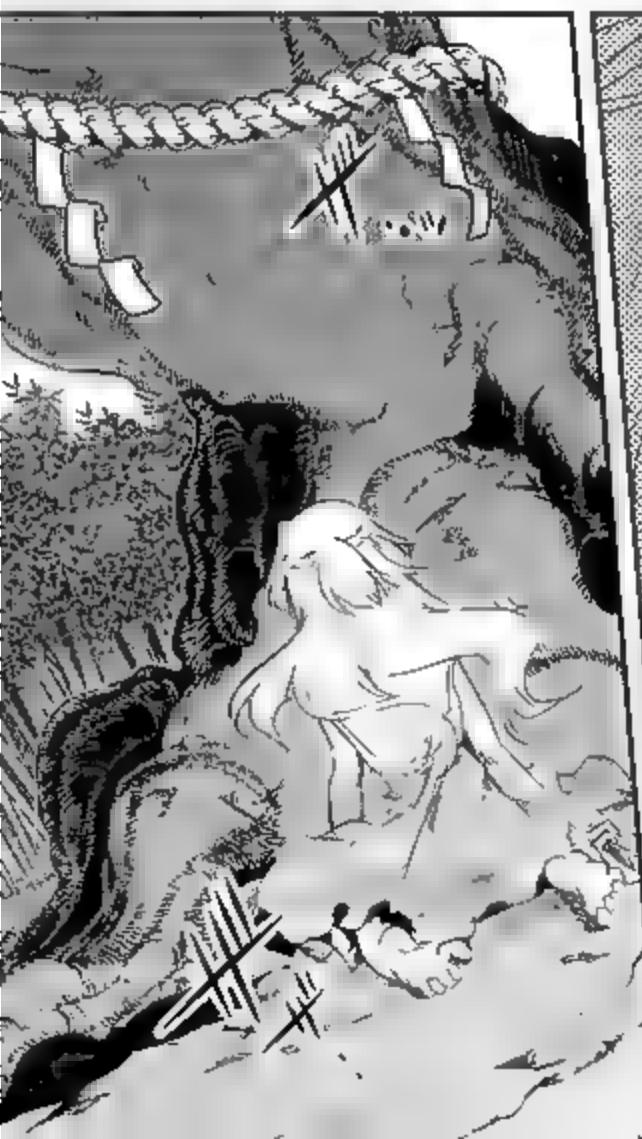
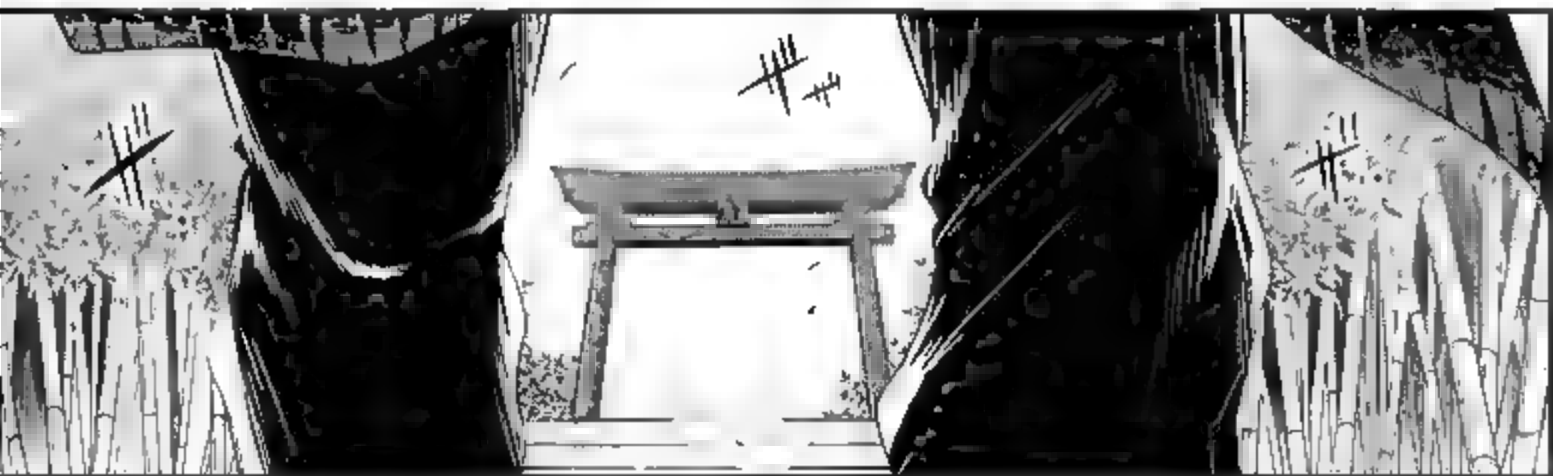
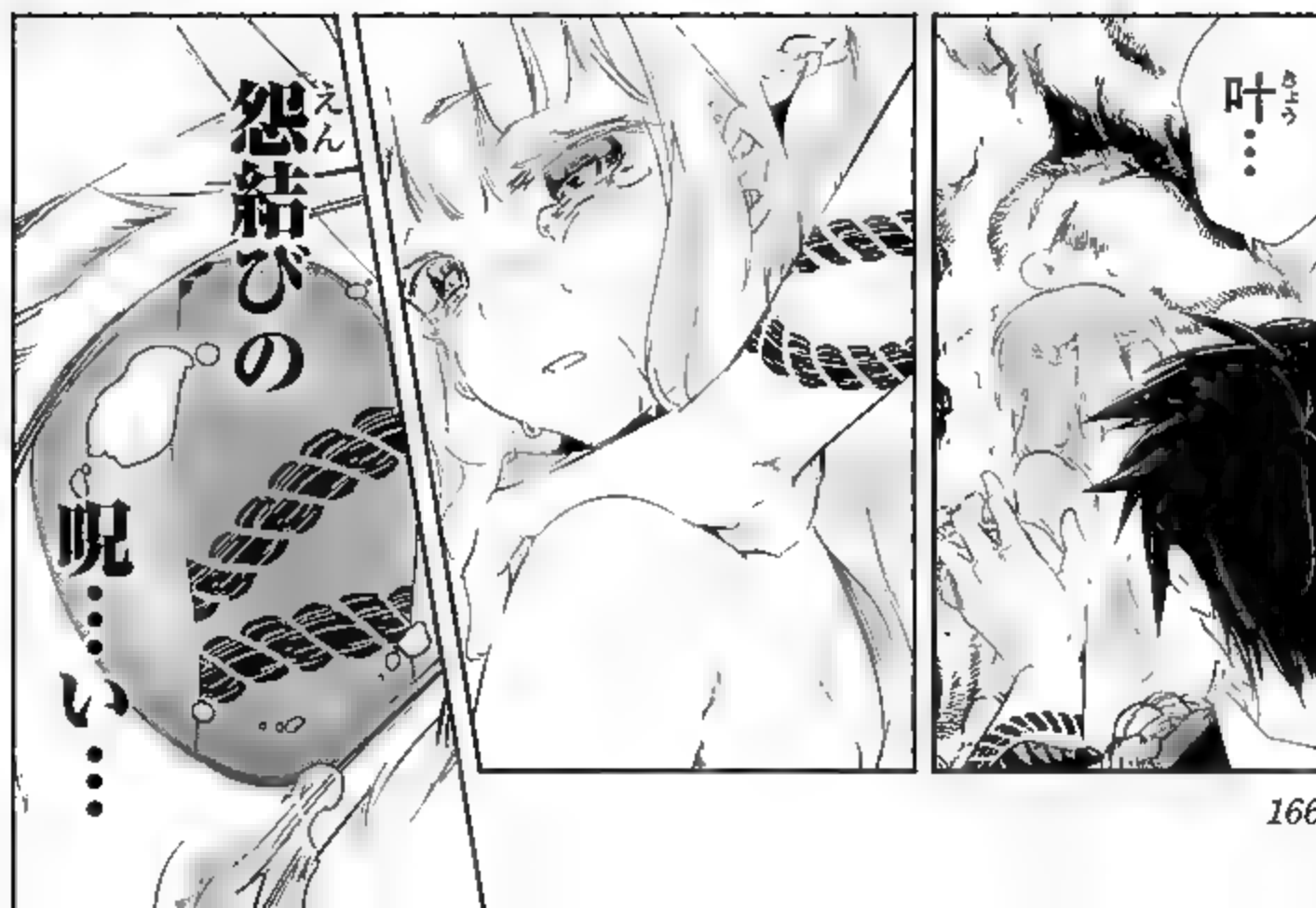
遺体が…
ない―――…

なんで…
なんで死体がないの…っ
これじゃなんにもできないよぉ…

私はクビツリさん以外何もいらないのにっ…
ぽろっ
それすら叶わないっていうのぉ…？

叶…

怨結びの呪…い…

にこっ。
ぐッ!?
おっ…
わ!?
……
…!?
やっぱり私
今日は冴えてる…
いいこと
思いついちゃった

このまま…

そしてあなたの
受ける代償は――
〃永遠に誰とも結ばれない〃

抱いて貰えば
いいんだ…♥

それってすっごく
素敵じゃない…♥

…それも――…いいな

蛇や呪いの面倒ごと
全てを背負って
悔やみ続けるのに比べたら

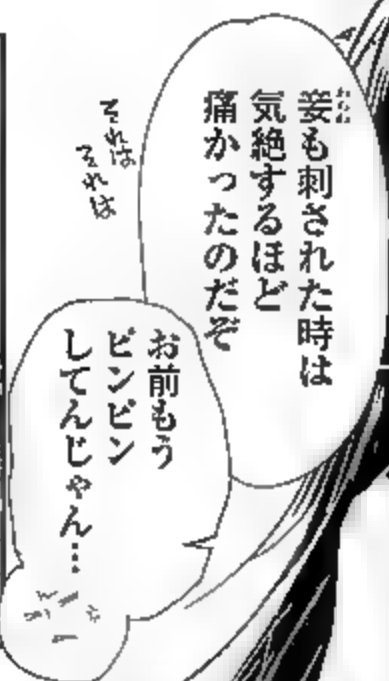
好きな女の
ためだけに――

『救えた……』
『初めて――呪いを』
『未然に防げたんだ……!』
〃お……えは〃
〃お前は――
〃妾の失った〃
〃良心の代わりだ〃

蛇──
頼む・・
呪いを…
・・・
『俺ごと絶ち斬れッ』!!!

――ふん
随分と決断が遅かったが――まあいい

やっと見つけた――
永遠の愛の…形…
そっか…
クビツリさんは結んでくれないんだ…
やっぱり…重荷だったのかな…？
――だけど私の気持ちは本当だったの…
私を怒ってくれたのは
私のために心を傷めてくれたのは
あなただけだったの――…
…悪い…叶(きょう)
俺はまだ――
お前と楽になるわけにはいかねえ…

…いっ
ぎゅ
ってえええ〜〜〜〜ッ
喚くな
妾も刺された時は
気絶するほど
痛かったのだぞ
それはそれは
お前もう
ピンピン
してんじゃん…
しかし…
妾が死なぬと
いつ気付いた?
…最初から
疑ってたよ
前 俺が本気で
絞め殺そうとした時も
けろっとしてたからな
?
そういえば
そんなことも
あったかの
…しかし——
これで貴様は左腕と共に
妾を消す手立てを
永遠に失ったのだな

その話だけど
お前…叶に襲われる
直前のこと――
覚えてるか
知らぬ。

あ あ あの痴態はっ
酒のせいであって
断じて妾の意思など
ではない…!!
忘れろ!!
覚えてんじゃ
ねーか!!
てか…俺が
言いたいのはそのこと
じゃねえよ!!
カン違い
すんな
!!

〝妾は――悪か…?〟
〝貴様が居て
初めて妾は罪と
認識できる…〟
〝お前は妾の失った
良心の代わりだ――〟

あれから
色々考えたが…
お前が俺を傍に
置いた理由――
本当は
パシリだけじゃ
ないんだろ?
…………

……
ぐっ
あの時の妾を心から怨むぞ…っ
この先も貴様は妾の代わりに傷つき苦悩しろ
この忌まわしい封印により――今の妾には善悪も心の〃痛み〃も判らぬ
故に
――そこまで知れたのなら
包み隠さず話そう
そうして…妾の業を記憶に刻め
お前は妾の良心となって欲しいのだ

頼む…
いつか…蛇と成り果てる前の
本当の妾を取り戻すまで…
………
…どんだけ無茶振りだよ……

ひたすら傷つき続けろって言うのか
依頼者たちの迎える結末から目を逸らすことも
楽になることも許されず

だったら手伝ってやる

お前が失ったっていう良心の――代用としてな

……っつーかな

最初からてめえが素直にそう言ってりゃ

俺だって無駄に腹立てたりお前憎んだりせずに済んだんだよ!!

どうしてくれんだこの怒り

あの娘と…同じだ

妾もまた
心から…怒り
憎まれても
否定して…
欲しかったのだ
あ…
…そっ
その代わり──
俺も好きにさせて
貰うからな
叶みたく…
救える奴は
救いたい
出来る限り
不幸な結末には
したくねえ…
消えた奴らを
戻す方法だって
もしかしたら──
相変わらず
面倒な奴だの

ザザ
だがまあ…良いだろう
妾もいずれ罪を償う時が来る
それまで多少なりとも貴様の我侭に協力するとしよう
これからも頼むぞ
妾の——半身…
『神さまの怨結び』／完

初めましての方は初めまして。守月と書いてかみづきです。
『神さまの縁結び』いかがだったでしょうか。

今回のお話、設定上いくらかHな表現はあれど、
焦点を当てたかったのは少女が呪いの行使に至るまでの覚悟とその顛末でした。

呪いのトリガーに『性』を絡めたのは、生物である以上避けようがなく、もっとも身近で、
それでいてこの年頃の彼女達にとってはまだまだ未知の領域だと思ったからです。

だからこそ、行為はなるたけしっかり描きたい…という、
無茶な希望が叶う、理想郷ともいえる場を提供して下さった
REDいちごさんにはとても感謝してます。

当初、担当さんとの打ち合わせで『呪う相手と致さなくてはならない』という
設定を決めた時は恐らく酒の力もあってか結構ノリノリだったんですが、
一人冷静になって
(いやいやこの設定無理あるでしょ…誰が使うのこんな呪い)と
激しく後悔したんですが、いざ始まってみると
「女の子ってつえぇ…」と一人感心してました。自分で描いておきながら。
はい。私は芯の強いヒロインが大好きです。

全員ハッピー☆大団円にならないのは物語の性質上避けがたく、
なかなか辛かったですがどの子も皆幸せになり(し)たくて
呪いを選んだ以上、せめて『失うばかりではない』終わり方を意識しました。

4話に至るまでの展開はやや早足気味となりましたが、
わけあってここで一区切りとさせていただきました。
反響があれば続くかもしれないし、あるいは続いても
今とは別の形になるかもしれませんが その時にはもっと様々な呪いの物語、
そして神さまの知られざる過去も描いてみたいですね。

ご意見やご感想はどんなものでも遠慮なくどしどし貰えたら嬉しいです。
それでは、またお目にかかれる日を楽しみに。

2014.
守月

Twitter@Kamizuki_S1
URL…http://shikikami.blog83.fc2.com/

Special Thanks(敬称略)
カエル紳士　糸春
あんせりく　tarow
担当H野

神さまの怨結び

2014年12月1日　初版発行

著　者　守月史貴
©Siki Kamizuki 2014

発行者　秋田貞美
発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　大日本印刷株式会社
Printed in Japan

ISBN978-4-253-23570-9

デジタル版　2015年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com